

令和4年度 第1回 埼玉県立近代美術館協議会

【目次】

○ 令和3年度事業報告	P 1
1 常設展示事業	P 1
2 企画展示事業	P 3
3 美術作品収集事業	P 7
4 一般向け普及事業	P 13
5 美術館の利用促進事業	P 14
6 子ども向け事業	P 15
7 学校との連携	P 19
8 ボランティア活動	P 20
9 「椅子」の有効活用	P 21
10 一般展示室の利用状況	P 22
○ 令和3年度入館者数一覧	P 25
○ 令和3年度決算の概要	P 26
○ 令和4年度事業実施状況	P 27
1 常設展示事業	P 27
2 企画展示事業	P 29
3 美術作品収集事業	P 32
4 一般向け普及事業	P 32
5 美術館の利用促進事業	P 33
6 子ども向け事業	P 34
7 学校との連携	P 38
8 ボランティア活動	P 39
9 「椅子」の有効活用	P 40
10 一般展示室の利用状況	P 41
○ 令和4年度入館者数一覧	P 42
○ 令和4年度当初予算の概要	P 43

日 時：令和4年8月25日（木）午後2時～（オンライン開催）

令和3年度 事業報告

1 常設展示事業

(1) MOMASコレクション（常設展）の開催

令和3年度は4期に分け、多彩なテーマと切り口で収蔵作品を中心に一部借用作品も交えて企画性の高い展示を実施した。

会 期	内 容	展 示 作品数	期 間	観覧者数
第1期	<p>○「セレクション」 ピカソほか、MOMASコレクションの名品を紹介。</p> <p>○「さいきんのたまもの」 過去3年の間に、新たに当館に加わった作品を紹介。</p>	70点	<p>自 令和3年 4月24日(火)</p> <p>至 7月11日(日)</p> <p>(65日間)</p>	<p>6,667人 1日当たり 103人</p> <p>うち有料観覧者数 5,194人 1日当たり 80人</p>
第2期	<p>○「セレクション」 シニャックほか、MOMASコレクションの名品を紹介。</p> <p>○色彩と軌跡—ジャコモ・バッラ《進行する線》を起点に イタリア未来派で活躍した画家ジャコモ・バッラ(1871-1958)原画によるカーペットと、色彩や運動への関心があらわれた収蔵作品を展示。</p>	52点	<p>自 7月17日(土)</p> <p>至 10月17日(日)</p> <p>(82日間)</p>	<p>12,670人 1日当たり 155人</p> <p>うち有料観覧者数 8,920人 1日当たり 109人</p>
第3期	<p>○「セレクション」 キスリングほか、MOMAS コレクションの名品を紹介。</p> <p>○「特集：中野四郎」 美術団体「九元社」、「創型会」の創設、また埼玉県内における後進の育成に尽力した彫刻家・中野四郎(1901-1968)を特集。</p> <p>○「かぐわしき女性像」 近代日本画で描かれてきた女性の多様な姿を紹介。</p>	92点	<p>自 10月23日(土)</p> <p>至 令和4年 2月6日(日)</p> <p>(84日間)</p>	<p>12,989人 1日当たり 155人</p> <p>うち有料観覧者数 8,530人 1日当たり 102人</p>

第4期	<p>○「セレクション」 ドニほか、MOMASコレクションの名品を紹介。昨年度、新たに寄託されたファン・ゴッホの初期水彩画も展示。</p> <p>○たなごころの絵画 作家たちの手の軌跡に着目し、ドローイングや手のひらに収まるような小品などを展示。</p> <p>○「特集：末松正樹」 画家・末松正樹が第二次世界大戦のさなかにフランスにとどまって制作した、前衛的な舞踊にインスピレーションを得たドローイング類を紹介。</p>	109点	自 2月 12日(土) 至 4月 24日(土) (63日間)	<p>5,935人 1日当たり 94人</p> <p>うち有料観覧者数 4,037人 1日当たり 64人</p>
-----	---	------	--------------------------------------	--

(2) サンデー・トークの開催

例年、MOMASコレクション等の展示作品から毎回1点を選び、学芸員による解説を実施しているが、新型コロナウイルス感染症対策のため開催は自粛した。

2 企画展示事業

特定のテーマのもとに、国内外の作品を年5回展示した。

展覧会名	内 容	作品数	期 間	観覧者数
コレクション 4つの水紋	<p>本展では、近年の収蔵作家であるポール・シニャック、近代最初期に活躍した埼玉ゆかりの女性南画家奥原晴湖、椅子のモダンデザインに携わったシャルロット・ペリアン、そして屋外彫刻を手掛けた重村三雄の4作家を起点として、コレクションを紹介した。</p> <p>それぞれの作家の時代背景や画風などの特徴をキーワードに、思いがけない作品同士の繋がりなども提示し、コレクションの多彩さと展開の豊かさを提示した。</p>	135点	自 3月23日(火) 至 5月16日(日) (49日間/令和3年度・42日間)	令和3年度・観覧者数 4,114人 1日当たり 97人 うち有料観覧者数 2,641人 1日当たり 62人
ボイス+パレルモ	<p>第二次世界大戦以降の最も重要な芸術家のひとりヨーゼフ・ボイスと、その教え子ブリンキー・パレルモの二人展。</p> <p>ボイスはひろく社会を彫刻ととらえ、社会全体の変革を企てた。一方、ボイスに師事したパレルモは、ささやかで抽象的な作品によって私たちの認識を静かに揺さぶろうとした。一見対照的な両者をあわせて紹介し、社会と芸術のかかわりについて問うとともに、芸術の営為とはなにかを見つめなおすことを試みた。</p>	129点	自 7月10日(土) 至 9月5日(日) (51日間)	8,455人 1日当たり 165人 うち有料観覧者数 5,247人 1日当たり 102人

展覧会名	内 容	作品数 (予定)	期 間	観覧者数
美男におわす	<p>麗しい歴史上の人物から、親しみを感じるアイドルまで、「美人画」というカテゴリーには時々の理想像が投影されてきた。そこに登場するのは必ずしも女性ばかりではなく、魅力的な男性の姿も人々の憧れを招いた。江戸の粋を体現する伊達男や近代の逞しい男性美、現代のジェンダーレスな身体など、それぞれの時代であらわされてきた美のイメージを探った。</p>	119 点	自 9月23日 (木・祝) 至 11月3日 (水・祝) (36日間)	11,714 人 1日当たり 325 人 うち有料観覧者数 7,938 人 1日当たり 220 人
大・タイガー立石展 世界を描きつく せ！	<p>美術家として出発し、漫画、イラストレーション、絵本へと活動の場を拡げ、文化のヒエラルキーを徹底的に解体していったタイガー立石（本名・立石紘一）。見事な画力によってイメージを大胆に引用・再編し、奇想天外な時空間の変容を描く作風は、世代を超えて今日の若いアーティストに刺激を与え続けている。うらわ美術館との2館同時開催となるこの展覧会では、最初期の60年代の活動、70年代のイタリアでの仕事、帰国後の制作を大規模に回顧し、その全貌に迫った。</p>	約 130 点	自 11月16日(火) 至 1月16日(日) (46日間)	12,782 人 1日当たり 277 人 うち有料観覧者数 8,010 人 1日当たり 174 人

展覧会名	内 容	作品数	期 間	観覧者数
開館 40 周年記念展 扉は開いているか —美術館とコレク ション 1982—2022	1982年11月3日に開館し、 2022年に開館40周年を迎 える当館の活動を、収蔵作 品や資料によって振り返 るコレクション展。 本展では、美術館の原点と もいえる開館前後の活動、 展覧会などの活動と結び ついて形成されたコレク ション、美術館の建築や館 内外の空間に応答するよ うに生み出された作品や プロジェクトなど、さまざ まな視点から美術館の活 動とコレクションをひも といた。 埼玉県立近代美術館がこ れまでに築いてきた土台 を検証するとともに、こ れからの美術館を展望した。	約 180 点	自 2月5日(土) 至 5月15日(日) (88日間/R3年 度・48日間)	令和3年 度・観覧 者数 3,904人 1日あたり 81人 うち有料観覧者数 2,385人 1日あたり 49人

(2) 関連事業等の開催

企画展についての理解を深めるため、関連事業等を開催した。新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、動画配信の手法や事前申込制を導入して実施した。

ア 大・タイガー立石展 世界を描きつくせ！

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
12月24日(金) ～1月16日(日)	タイガー立石《水の巻》 について語る *「うら★とら チャン ネル」(うらわ美術館・ YouTube 動画) で配信	滝口明子(うらわ美術館学 芸員) × 平野到(当館学芸 員)	—	—

イ 開館 40 周年記念展 扉は開いているか—美術館とコレクション 1982-2022

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加 者数
3月20日（日）	ミュージアム・コンサート 「ともに歩み、ともに迎る～ 村治奏一 ギター・リサイタル～」	村治奏一（ギター）	30人 *電子申請による 事前申込制	26人

3 美術作品収集事業

令和4年3月31日現在

◆寄贈

令和3年度は美術資料選考評価委員会を2回実施した。第1回目は令和3年9月21日から持ち回りによる審査を実施し、181点を寄贈により収集した。第2回目は令和4年2月24日に開催し、113点を寄贈により収集した。なお、いずれも購入による収集はなかった。

1) 第1回美術資料選考評価委員会収集作品

No.	種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	収集方針
1	版画	秋岡美帆	ゆれるかげ	1993(平成5)年	NECOプリント、紙	2
2	版画	郭徳俊	Out Time 811	1982(昭和57)年	エッチング、エンボス、箔押し、紙	2
3	版画	文承根	無題	1977(昭和52)年	オフセット、紙	2
4	版画	孫雅由	無題	1976(昭和51)年	ドライポイント、アクアチント、紙	2
5	版画	孫雅由	無題	1976(昭和51)年	ドライポイント、アクアチント、紙	2
6	版画	孫雅由	現れるもの 沈みゆく	1976(昭和51)年	ドライポイント、アクアチント、紙	2
7	版画	孫雅由	無題	1976(昭和51)年	ドライポイント、ルーレット、紙	2
8	版画	孫雅由	単細胞生活	1977(昭和52)年	ドライポイント、紙	2
9	版画	孫雅由	無題	1978(昭和53)年	ドライポイント、紙	2
10	版画	孫雅由	無題	1978(昭和53)年	ドライポイント、紙	2
11	版画	孫雅由	甲虫	1978(昭和53)年	ドライポイント、紙	2
12	版画	孫雅由	水辺でのひととき	1978(昭和53)年	ドライポイント、紙	2
13	版画	孫雅由	飛び散る花粉	1978(昭和53)年	ドライポイント、紙	2
14	版画	孫雅由	昆虫記	1978(昭和53)年	ドライポイント、ルーレット、紙	2
15	版画	孫雅由	古生代の記憶	1978(昭和53)年	ドライポイント、ルーレット、紙	2
16	版画	孫雅由	無題	1979(昭和54)年	ドライポイント、紙	2
17	版画	孫雅由	無題	1979(昭和54)年	ドライポイント、紙	2
18	版画	孫雅由	無題	1979(昭和54)年	ドライポイント、紙	2
19	版画	孫雅由	無題	1979(昭和54)年	ドライポイント、アクアチント、紙	2
20	版画	孫雅由	無題	1982(昭和57)年	ドライポイント、アクアチント、紙	2
21	版画	孫雅由	形態の消去	1982(昭和57)年	アクアチント、紙	2
22	版画	孫雅由	無題	1983(昭和58)年	ドライポイント、紙	2
23	版画	孫雅由	無題	1983(昭和58)年	ドライポイント、紙	2
24	版画	孫雅由	無題	1983(昭和58)年	ドライポイント、アクアチント、紙	2
25	版画	孫雅由	無題	1982(昭和57)年	アクアチント、紙	2
26	版画	孫雅由	無題	1984(昭和59)年	ドライポイント、紙	2
27	版画	孫雅由	無題	1984(昭和59)年	ドライポイント、アクアチント、紙	2
28	版画	孫雅由	無題	1984(昭和59)年	ドライポイント、紙	2
29	版画	孫雅由	無題	1985(昭和60)年	ドライポイント、紙	2
30	版画	孫雅由	無題	1985(昭和60)年	ドライポイント、紙	2
31	版画	孫雅由	無題	1985(昭和60)年	ドライポイント、紙	2
32	版画	孫雅由	C85-29	1985(昭和60)年	ドライポイント、紙	2
33	版画	孫雅由	無題	1985(昭和60)年	ドライポイント、紙	2
34	版画	孫雅由	無題	1985(昭和60)年頃	ドライポイント、紙	2
35	版画	孫雅由	無題	1985(昭和60)年頃	ドライポイント、紙	2
36	版画	孫雅由	無題	1985(昭和60)年頃	ドライポイント、紙	2
37	版画	孫雅由	無題	1985(昭和60)年頃	ドライポイント、紙	2
38	版画	孫雅由	無題	1985(昭和60)年	ドライポイント、紙	2
39	版画	孫雅由	無題	1985(昭和60)年頃	ドライポイント、紙	2
40	版画	孫雅由	無題	1985(昭和60)年頃	ドライポイント、紙	2
41	版画	孫雅由	蔵書票	1985(昭和60)年頃	ドライポイント、紙	2
42	版画	孫雅由	無題	1985(昭和60)年頃	ドライポイント、紙	2
43	版画	孫雅由	無題	1985(昭和60)年頃	モノタイプ、紙	2
44	版画	孫雅由	年賀状	1985(昭和60)年	印刷物に木版画	2
45	版画	孫雅由	無題	1986(昭和61)年	ドライポイント、紙	2
46	版画	孫雅由	無題	1986(昭和61)年	ドライポイント、紙	2
47	版画	孫雅由	無題	1986(昭和61)年	ドライポイント、紙	2
48	版画	孫雅由	無題	1986(昭和61)年	ドライポイント、紙	2
49	版画	孫雅由	無題	1986(昭和61)年	ドライポイント、紙	2
50	版画	孫雅由	無題	1986(昭和61)年	アクアチント、紙	2
51	版画	孫雅由	形態の消去	1988(昭和63)年	ドライポイント、ルーレット、紙	2
52	版画	孫雅由	無題	1988(昭和63)年	ドライポイント、水彩、紙	2

No.	種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	収集方針
53	版画	孫雅由	無題	1988(昭和63)年	ドライポイント、水彩、紙	2
54	版画	孫雅由	無題	1988(昭和63)年頃	ドライポイント、ルーレット、紙	2
55	版画	孫雅由	無題	1991(平成3)年	ドライポイント、アクアチント、紙	2
56	版画	孫雅由	無題	1993(平成5)年	ドライポイント、紙	2
57	版画	孫雅由	無題	1993(平成5)年	ドライポイント、紙	2
58	版画	孫雅由	無題	1993(平成5)年	ドライポイント、ルーレット、紙	2
59	版画	孫雅由	無題	1994(平成6)年	ドライポイント、ルーレット、紙、コラージュ	2
60	版画	孫雅由	無題	1996(平成8)年頃	ドライポイント、ルーレット、紙	2
61	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
62	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
63	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
64	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
65	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
66	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
67	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
68	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
69	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
70	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
71	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
72	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
73	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
74	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
75	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
76	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
77	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
78	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
79	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
80	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
81	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
82	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
83	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
84	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
85	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代初め	鉛筆、紙	2
86	ドローイング	孫雅由	F81-35	1981(昭和56)年	フロッタージュ、鉛筆、紙、台紙	2
87	ドローイング	孫雅由	Work 81 03F	1981(昭和56)年	フロッタージュ、鉛筆、紙、台紙	2
88	ドローイング	孫雅由	Work 81 02F	1981(昭和56)年	フロッタージュ、鉛筆、紙、台紙	2
89	ドローイング	孫雅由	Work 81 01F	1981(昭和56)年	フロッタージュ、鉛筆、紙、台紙	2
90	ドローイング	孫雅由	無題	1981(昭和56)年	フロッタージュ、鉛筆、紙、台紙	2
91	ドローイング	孫雅由	無題	1981(昭和56)年	フロッタージュ、鉛筆、紙	2
92	ドローイング	孫雅由	無題	1981(昭和56)年	フロッタージュ、鉛筆、紙	2
93	ドローイング	孫雅由	無題	1982(昭和57)年	鉛筆、紙	2
94	ドローイング	孫雅由	記憶の痕跡	1984(昭和59)年	鉛筆、フロッタージュ、紙	2
95	ドローイング	孫雅由	無題	1984(昭和59)年	水彩、鉛筆、紙	2
96	ドローイング	孫雅由	E85--241	1985(昭和60)年	鉛筆、水彩、紙	2
97	ドローイング	孫雅由	E85--372	1985(昭和60)年	鉛筆、水彩、紙	2
98	ドローイング	孫雅由	WS 86-82	1986(昭和61)年	水彩、鉛筆、紙	2
99	ドローイング	孫雅由	Work 86-88	1986(昭和61)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
100	ドローイング	孫雅由	WS 86-85	1986(昭和61)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
101	ドローイング	孫雅由	WS 86-40	1986(昭和61)年	水彩、鉛筆、紙	2
102	ドローイング	孫雅由	無題	1986(昭和61)年	水彩、鉛筆、紙	2
103	ドローイング	孫雅由	無題	1986(昭和61)年	水彩、紙	2
104	ドローイング	孫雅由	WS 86-45	1986(昭和61)年	水彩、鉛筆、紙	2
105	ドローイング	孫雅由	WS 86-43	1986(昭和61)年	水彩、鉛筆、紙	2
106	ドローイング	孫雅由	WS 86-48	1986(昭和61)年	水彩、紙	2
107	ドローイング	孫雅由	無題	1986(昭和61)年頃	水彩、紙	2
108	ドローイング	孫雅由	WS 86-65	1986(昭和61)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
109	ドローイング	孫雅由	WS 86-89	1986(昭和61)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
110	ドローイング	孫雅由	WS 86-58	1986(昭和61)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
111	ドローイング	孫雅由	WS 86-55	1986(昭和61)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
112	ドローイング	孫雅由	WS 86-53	1986(昭和61)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
113	ドローイング	孫雅由	無題	1986(昭和61)年	水彩、鉛筆、紙	2

No.	種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	収集方針
114	ドローイング	孫雅由	無題	1986(昭和61)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
115	ドローイング	孫雅由	無題	1986(昭和61)年	水彩、紙	2
116	ドローイング	孫雅由	色の位置	1987(昭和62)年	水彩、鉛筆、紙	2
117	ドローイング	孫雅由	Work 87-34	1987(昭和62)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
118	ドローイング	孫雅由	WS 87-27	1987(昭和62)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
119	ドローイング	孫雅由	WS 87-168	1987(昭和62)年	水彩、紙	2
120	ドローイング	孫雅由	WS 87-166	1987(昭和62)年	水彩、紙	2
121	ドローイング	孫雅由	自立する色	1987-97(昭62-平成9)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
122	ドローイング	孫雅由	無題	1988(昭和63)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
123	ドローイング	孫雅由	無題	1988(昭和63)年	水彩、紙	2
124	ドローイング	孫雅由	無題	1988(昭和63)年	水彩、紙	2
125	ドローイング	孫雅由	無題	1988(昭和63)年	水彩、紙	2
126	ドローイング	孫雅由	無題	1988(昭和63)年	水彩、紙	2
127	ドローイング	孫雅由	色の位置	1989(昭和64)年	水彩、鉛筆、紙	2
128	ドローイング	孫雅由	無題	1989(昭和64)年	水彩、鉛筆、紙	2
129	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代末	水彩、紙	2
130	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代末	水彩、紙	2
131	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代末	墨、紙	2
132	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代末	水彩、紙	2
133	ドローイング	孫雅由	無題	1980年代末	水彩、紙	2
134	ドローイング	孫雅由	色の位置	1990(平成2)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
135	ドローイング	孫雅由	無題	1991(平成3)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
136	ドローイング	孫雅由	無題	1992(平成4)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
137	ドローイング	孫雅由	無題	1992(平成4)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
138	ドローイング	孫雅由	無題	1992(平成4)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
139	ドローイング	孫雅由	無題	1992(平成4)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
140	ドローイング	孫雅由	無題	1993(平成5)年	水彩、クレヨン、鉛筆、紙	2
141	ドローイング	孫雅由	無題	1993(平成5)年	水彩、鉛筆、紙、台紙	2
142	ドローイング	孫雅由	自立する色	1993(平成5)年	水彩、鉛筆、紙	2
143	ドローイング	孫雅由	自立する色	1993(平成5)年	水彩、鉛筆、紙	2
144	ドローイング	孫雅由	空間の間合い	1994(平成6)年	水彩、紙	2
145	ドローイング	孫雅由	無題	1996(平成8)年	水彩、木炭、紙	2
146	ドローイング	孫雅由	無題	1996(平成8)年	色墨、木炭、紙	2
147	ドローイング	孫雅由	空間の間合い	1996(平成8)年	水彩、木炭、紙	2
148	ドローイング	孫雅由	空間の間合い	1996(平成8)年	水彩、木炭、紙	2
149	ドローイング	孫雅由	予響色	1996(平成8)年	色墨、木炭、紙	2
150	ドローイング	孫雅由	無題	1996(平成8)年	色墨、木炭、紙	2
151	ドローイング	孫雅由	無題	1996(平成8)年	クレヨン、木炭、紙	2
152	ドローイング	孫雅由	無題	1998(平成10)年	色墨、木炭、紙	2
153	ドローイング	孫雅由	無題	1998(平成10)年	色墨、木炭、紙	2
154	ドローイング	孫雅由	無題	1998(平成10)年	色墨、木炭、紙	2
155	ドローイング	孫雅由	無題	1998(平成10)年	色墨、木炭、紙	2
156	ドローイング	孫雅由	無題	1998(平成10)年	色墨、木炭、紙	2
157	ドローイング	孫雅由	無題	1998(平成10)年	色墨、木炭、紙	2
158	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	色墨、木炭、紙	2
159	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	色墨、木炭、紙	2
160	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	色墨、木炭、紙	2
161	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	色墨、木炭、紙	2
162	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	色墨、木炭、紙	2
163	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	色墨、木炭、紙	2
164	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	色墨、木炭、紙	2
165	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	色墨、木炭、紙	2
166	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	色墨、木炭、紙	2
167	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	色墨、木炭、紙	2
168	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	色墨、木炭、紙	2
169	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	色墨、紙	2
170	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	色墨、紙	2
171	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	クレヨン、木炭、鉛筆、紙	2
172	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	クレヨン、木炭、紙	2
173	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	クレヨン、木炭、紙	2
174	ドローイング	孫雅由	無題	1990年代後半	クレヨン、木炭、紙	2

No.	種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	収集方針
175	ドローイング	孫雅由	無題	1999(平成11)年	クレヨン、紙	2
176	ドローイング	孫雅由	無題	2000(平成12)年	色墨、紙	2
177	ドローイング	孫雅由	無題	2000(平成12)年	色墨、紙	2
178	ドローイング	孫雅由	無題	2000(平成12)年	色墨、紙	2
179	ドローイング	孫雅由	無題	2000(平成12)年	色墨、紙	2
180	資料	孫雅由	資料一式			2
181	版画	吉田克朗	LONDON II (Fitzmaurice Place)	1975(昭和50)年	エッチング、紙	1

※ 収集方針：1本県にゆかりのある優れた作家の作品 2本県の美術界に影響を与えた国内外の作家の作品

2) 第2回美術資料選考評価委員会収集作品

No.	種別	作家名	作品名	制作年	技法・素材	収集方針
1	油彩画ほか	正木隆	造形99-2	1999 (平成11)	油彩、綿布	2
2	油彩画ほか	正木隆	Shot 02-2	2002 (平成14)	油彩、綿布	2
3	油彩画ほか	正木隆	from DRIVING to DIVING 03-8	2003 (平成15)	油彩、綿布	2
4	油彩画ほか	野見山暁治	今日になった	2003 (平成15)	油彩、カンヴァス	2
5	資料	秋山祐徳太子	東京都知事立候補 ポスター「TOKYOラ ブソディー」	1975 (昭和50)	オフセット印刷、紙	2
6	資料	秋山祐徳太子	選挙運動用通常葉 書	1975 (昭和50)	オフセット印刷、紙	2
7	資料	秋山祐徳太子	東京都知事立候補 ポスター「Fever! Akiyama」	1979 (昭和54)	オフセット印刷、紙	2
8	資料	秋山祐徳太子	東京都知事立候補 ポスター「都市を 芸術する！」	1979 (昭和54)	オフセット印刷、紙	2
9	資料		森田恒友旧蔵トラ ンク		革	1
10	平面その他	堀浩哉	鑑賞を拒否する	1969 (昭和44) 再制作1992 (平成4)	麻布、木 (2点組)	2
11	平面その他	堀浩哉	Revolution	1971 (昭和46)	クレヨン、紙	2
12	ドローイング	堀浩哉	白いクレヨン	1972 (昭和47)	クレヨン、紙 (グラビア雑 誌)	2
13	ドローイング	堀浩哉	4本のクレヨン	1973 (昭和48)	クレヨン、紙 (グラビア雑 誌)	2
14	立体その他	堀浩哉	15個の石膏	1973 (昭和48) 1989 (平成元)	石膏 (6個)、ブロンズ (6 個)	2
15	版画	堀浩哉	THREE PRIMARY COLORS PRACTICE (6pieces)	1975 (昭和50)	シルクスクリーン、紙 (6点 組)	2
16	版画	堀浩哉	THREE PRIMARY COLORS PRACTICE (18pieces)	1975 (昭和50)	シルクスクリーン、紙 (18 点組)	2
17	ドローイング	堀浩哉	LINE PRACTICE	1977 (昭和52)	粉絵具、カンヴァス	2
18	ドローイング	川俣正	「Project Work in Saitama '83」プラ ンドローイング	1983 (昭和58)	ペン、鉛筆、紙	2
19	ドローイング	川俣正	「Project Work in Saitama '83」プラ ンドローイング	1983 (昭和58)	ペン、鉛筆、紙	2
20	ドローイング	川俣正	「Project Work in Saitama '83」プラ ンドローイング	1983 (昭和58)	ペン、鉛筆、紙	2

No.	種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	収集方針
21	ドローイング	川俣正	「Project Work in Saitama '83」プランドローイング	1983 (昭和58)	ペン、鉛筆、紙	2
22	油彩画ほか	田中保	作品名不詳	不詳	油彩、カンヴァス	1
23	油彩画ほか	早瀬龍江	妖火	1954 (昭和29)	油彩、ボタン、糸、カンヴァス	1
24	ドローイング	白木正一	裸婦	1958 (昭和33)	コンテ、色紙	1
25	版画	白木正一	Work	1960 (昭和35)	リトグラフ、紙	1
26	版画	白木正一	Work	1979 (昭和54)	カーボン紙、ペン、紙	1
27	版画	野田哲也	Diary; April 3rd '76(c)	1976 (昭和51)	木版、シルクスクリーン、和紙	2
28	版画	林芳史	Line <Topos>	1974 (昭和49)	エッチング、紙	2
29	版画	林芳史	Line <Topos>	1974 (昭和49)	エッチング、紙	2
30	版画	林芳史	Line <Topos>	1974 (昭和49)	エッチング、紙	2
31	版画	林芳史	Work	1975 (昭和50) 頃	リトグラフ、紙	2
32	版画	林芳史	X	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	2
33	版画	林芳史	Work	1977 (昭和52)	リトグラフ、紙	2
34	版画	林芳史	Work	1977 (昭和52) 頃	リトグラフ、紙	2
35	版画	林芳史	The Plane Surface as an Object	1978 (昭和53) 頃	リトグラフ、紙	2
36	版画	林芳史	DISSIPATION 2	1982 (昭和57) 頃	銅版、紙	2
37	ドローイング	林芳史	Drawing on print	1975 (昭和50)	鉛筆、インク、紙	2
38	ドローイング	林芳史	Work	1975 (昭和50)	水彩、墨、紙	2
39	ドローイング	林芳史	Pencil	1975 (昭和50)	コンテ、紙	2
40	ドローイング	林芳史	Concerning Identity and Difference	1975 (昭和50)	コンテ、紙	2
41	ドローイング	林芳史	Concerning Identity and Difference	1975 (昭和50)	コンテ、紙	2
42	ドローイング	林芳史	Work	1975 (昭和50)	コンテ、紙	2
43	ドローイング	林芳史	Work	1975 (昭和50)	コンテ、紙	2
44	版画	林芳史	Drawing on Print	1975 (昭和50)	リトグラフ、鉛筆、紙	2
45	版画	林芳史	Drawing on Print	1975 (昭和50)	銅版、コンテ、紙	2
46	ドローイング	林芳史	習作	1975 (昭和50) 頃	コンテ、紙	2
47	ドローイング	林芳史	習作	1975 (昭和50) 頃	コンテ、紙	2
48	ドローイング	林芳史	習作	1975 (昭和50) 頃	コンテ、紙	2
49	ドローイング	林芳史	習作	1975 (昭和50) 頃	コンテ、紙	2
50	ドローイング	林芳史	習作	1975 (昭和50) 頃	コンテ、紙	2
51	ドローイング	林芳史	習作	1975 (昭和50) 頃	コンテ、紙	2
52	ドローイング	林芳史	習作	1975 (昭和50) 頃	コンテ、紙	2
53	ドローイング	林芳史	習作	1975 (昭和50) 頃	コンテ、紙	2
54	ドローイング	林芳史	習作	1975 (昭和50) 頃	コンテ、紙	2
55	ドローイング	林芳史	習作	1975 (昭和50) 頃	コンテ、紙	2
56	ドローイング	林芳史	習作	1975 (昭和50) 頃	コンテ、紙	2
57	ドローイング	林芳史	習作	1975 (昭和50) 頃	水彩、紙	2
58	ドローイング	林芳史	Work	1976 (昭和51)	水彩、コラージュ、紙	2
59	ドローイング	林芳史	習作	1976 (昭和51)	水彩、鉛筆、紙	2
60	ドローイング	林芳史	習作	1976 (昭和51)	コンテ、墨、紙	2
61	ドローイング	林芳史	劇画スケッチ	1978 (昭和53)	墨、紙	2
62	ドローイング	林芳史	劇画スケッチ	1978 (昭和53) 頃	墨、紙	2
63	ドローイング	林芳史	習作	1978-80 (昭和53-55) 頃	墨、紙	2
64	版画	林芳史	習作	1978-80 (昭和53-55) 頃	墨、紙	2
65	ドローイング	林芳史	Work	1979 (昭和54)	墨、鉛筆、和紙	2
66	ドローイング	林芳史	Work	1979 (昭和54)	墨、和紙	2
67	ドローイング	林芳史	Work	1979 (昭和54)	墨、和紙	2
68	ドローイング	林芳史	Work	1979 (昭和54) 頃	墨、和紙	2
69	ドローイング	林芳史	Work	1979 (昭和54) 頃	墨、和紙	2
70	ドローイング	林芳史	Work	1979 (昭和54) 頃	墨、和紙	2
71	ドローイング	林芳史	Work	1980 (昭和55)	彩色、和紙	2
72	ドローイング	林芳史	Work	1980 (昭和55) 頃	彩色、和紙	2

No.	種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	収集方針
73	ドローイング	林芳史	Work	1980 (昭和55) 頃	墨、和紙	2
74	ドローイング	林芳史	Work	1980 (昭和55) 頃	墨、和紙	2
75	ドローイング	林芳史	Work	1980 (昭和55) 頃	墨、和紙	2
76	ドローイング	林芳史	Work	1980 (昭和55) 頃	墨、和紙	2
77	ドローイング	林芳史	Work	1980 (昭和55) 頃	墨、箔、和紙	2
78	ドローイング	林芳史	Work	1980 (昭和55) 頃	墨、和紙	2
79	ドローイング	林芳史	Work	1980 (昭和55) 頃	墨、和紙	2
80	ドローイング	林芳史	Work	1980 (昭和55) 頃	墨、和紙	2
81	ドローイング	林芳史	Work	1980 (昭和55) 頃	墨、和紙	2
82	ドローイング	林芳史	Work	1980 (昭和55) 頃	墨、和紙	2
83	ドローイング	林芳史	Work	1980 (昭和55) 頃	墨、和紙	2
84	ドローイング	林芳史	習作	1980 (昭和55) 頃	墨、和紙	2
85	ドローイング	林芳史	Work	1980年代	墨、和紙	2
86	ドローイング	林芳史	Work	1980年代	墨、和紙	2
87	ドローイング	林芳史	Work	1980年代	墨、和紙	2
88	ドローイング	林芳史	Work	1980年代	墨、和紙	2
89	ドローイング	林芳史	Work	1980年代	墨、和紙	2
90	ドローイング	林芳史	Work	1980年代	墨、和紙	2
91	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
92	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
93	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
94	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
95	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
96	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
97	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
98	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
99	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
100	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
101	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
102	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
103	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
104	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
105	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
106	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
107	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
108	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
109	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
110	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	墨、和紙	2
111	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	水彩、紙	2
112	ドローイング	林芳史	習作	1980年代	水彩、紙	2
113	ドローイング	飯田昭二	紙・墨	1989 (平成元) 頃	墨、紙	2

※ 収集方針: 1本県にゆかりのある優れた作家の作品 2本県の美術界に影響を与えた国内外の作家の作品

4 一般向け普及事業

(1) ミュージアム・レクチャーの開催

多くの方々に美術および関連領域に親しんでもらうため、レクチャーを含むプログラムを開催した。内容については当館で開催する展覧会や収蔵作品と必ずしも結び付けず、聴講者が今後当館だけでなく様々な場で作品を鑑賞する時や、制作を行う際の刺激となることをねらいとした。

期 日	内 容	講 師	定員等	参加者数
令和3年 11月28日	日本画に関すること (日本画材、技法について)	荒井 経 (日本画家・東京藝術大学大学院美術研究科 保存修復日本画研究室教授)	・定 員：30人 ・参加費：無料	28人

(2) 一般団体案内

企画展やMOMASコレクション展を観覧する2名以上の団体を対象に、別室でスライドによる案内（「スライド・トーク」）を行う。案内内容は、観覧する展覧会の見どころや作品解説、美術館全体の案内、屋外彫刻の解説など、希望に応じた内容・時間で対応した。

なお、視覚障がい者を対象としたガイドや出張講座も受け付けた。

(3) 資料閲覧室の運営

国内外の美術図書、雑誌を公開するとともに、美術情報の提供や資料相談を行った。

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、水・土曜日の午後のみ開室した。

(4) 広聴広報活動

ア 県民の多様な要望を美術館活動に反映させるため、アンケートコーナーを設置する他、企画展、MOMAS コレクション、普及関連の講座等にあわせてアンケート調査を実施した。

イ アンケートやインターネットで受け付けた質問や要望の内容に応じて、随時回答を行った。

ウ 美術館広報紙「ソカロ(MUSEUM NEWS)」、「MUSEUM CALENDAR」及び企画展ポスターやちらし、学校向けの利用案内等を作成し、県内の情報拠点や全小・中・高、特別支援学校、全国美術館等に配布した。

エ 美術館ホームページやTwitter、Facebook、YouTube を活用して、企画展やMOMAS コレクション、その他の様々な催し物の内容や利用案内など、最新の美術館情報を発信した。

オ プレスリリースの配信、記者発表、プレス内覧会の実施など、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、WEB 等各種の媒体に対して積極的なパブリシティに努めた。

カ Google Arts & Culture に参加し、当館のコレクションやストリートビューを全世界に向けて発信した。

キ MOMAS コレクション及び企画展の開催にあわせ、JR 東日本大宮支社の協力を得て北浦和駅構内にポスターを掲出した。

ク 北浦和地区の自治会、商店会との協力関係を築き、企画展チラシの回覧や掲示を行った。

ケ 埼玉りそな銀行北浦和西口支店の協力を得て、同店の大型ディスプレイにて美術館の情報を発信した。

コ 県民の日に MOMAS コレクション観覧料無料サービスを実施した。

5 美術館の利用促進事業

(1) 北浦和公園ポリス・コンサート

北浦和公園を活用し、美術館利用を促進する事業を実施する。令和3年度は、警察の判断により中止した。

期 日	内 容	場 所	定員	参加者数
令和3年 6月5日（土） ※警察の判断 により中止	「北浦和公園ポリス・コンサート」 出演：埼玉県警察音楽隊・カラーガード隊 主催：埼玉県警察本部広報課	北浦和公園	—	—

(2) ファミリー鑑賞会

ベビーカーの赤ちゃんやよちよち歩きのお子様と一緒に展覧会をゆっくりご覧いただけるよう、MOMAS コレクション「ファミリー鑑賞会」を実施する。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。

期 日	内 容	参加者数
中止	スタッフによる作品解説及び観覧サポート	—

6 子供向け事業

(1) 「MOMASのとびら」

主に土曜日に「MOMASのとびら」としてワークショップを開催した。

各ワークショップは、職員を中心に、授業連携をしている埼玉大学の学生や当館ボランティア「教育普及サポート・スタッフ」の協力を得て実施した。アーティストを講師に招くこともある。

令和3年度より、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、より安全に実施できるプログラムに絞って、全て事前予約制で実施することとした。各回の定員を少人数にすることで参加者が限られてしまうため、プログラムによっては同じ内容を複数回行うようにした。展覧会の作品鑑賞を行うプログラムについては、MOMASコレクション関連プログラムと企画展関連プログラムを分けず、柔軟に対応できるようにした。また、実施を重ねていく中で安全な運営が可能と判断し、12月以降、若干名であるが定員を増やした。

ア 「みる+つくる」

MOMASコレクションや企画展を鑑賞し、それをもとに簡単な制作を行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和3年 5月22日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	10人	—
10月23日	「ニューMOMAS!? 進化する建物をつくろう！」 (黒川紀章建築を鑑賞し、進化する建物をイメージして作品づくりを楽しむ。)	〃	8人
11月 6日	※10月23日と同様。	〃	9人
12月11日	「動く生き物!? どんな動き? こんな動き！」 (タイガー立石の作品に見られる動きの表現を知り、型を使って動きを感じる作品をつくる。)	12人	12人

イ 「親子クルーズ」

MOMAS コレクションや企画展を親子で鑑賞し、それをもとに簡単な制作を行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和3年 6月26日	「1枚の板から椅子ができた！」 (1枚のデコパネを無駄なく使いミニチュア椅子をつくる。)	5組	8人
7月 3日	※6月26日と同様。	〃	12人
10月 2日	「生き物発見！どんな生き物？こんな生き物！」 (最上壽之《パッ ドラネコミャオー》を鑑賞し、想像した生き物をつくる。)	〃	4人
10月 9日	※10月2日と同様。	〃	6人
令和4年 2月 5日	「色やかたちで伝えよう！ここが好きだよ、すてきだよ。」 (マルク・シャガール《二つの花束》を鑑賞し、相手のことをイメージして作品をつくる。)	6組	6人
2月12日	※2月5日と同様。	〃	10人

ウ 「み～っけ！」

幼児（4歳から）とその保護者の美術館デビューをねらい、美術館でのできごとを体いっぱい楽しむ。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和3年 6月 5日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	5組	—
6月12日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	〃	—
11月20日	「キラキラ枢機卿に大変身！」 (ジャコモ・マンズー《枢機卿》を鑑賞し、紙のマントと烏帽子に模様を描いて楽しむ。)	〃	8人
12月 4日	※11月20日と同様。	12人	12人
令和4年 3月12日	「かく、カク、四角！MOMAS発見！」	〃	12人
3月19日	※3月12日と同様。	〃	10人

エ 「工房」

美術館ならではの制作活動を楽しむ。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和3年 7月17日	「『MOMASのかたち』でつくろう！」 (埼玉県立近代美術館の「四角」をテーマにオブジェをつくる。)	10人	10人
7月24日	※7月17日と同様。	〃	9人
令和4年 1月22日	「まるまるあなだらけのランプシェードをつくろう！」 (橋本真之《果実の中の木もれ陽》を鑑賞し、ランプシェードをつくる。)	12人	7人
2月19日	「和紙を貼って貼って〇ランプ! □ランプ!」 (和紙を使って、好きなものを入れたライトをつくる。)	〃	11人
3月 5日	※1月22日と同様。	〃	8人

オ 「彫刻あらいぐま」

屋外彫刻を親子で洗って鑑賞する。彫刻ボランティアが講師として活動する。

期 日	内 容	定員	参加者数
令和3年 5月 8日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	2組	—
5月15日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	〃	—
9月11日	「あらって見よう! 彫刻作品」	〃	2人
9月18日	台風のため中止	〃	—

カ 「フリープログラム」

天候・会場等に合わせ、誰でも参加できるプログラムを実施する。

内容によって適切な定員を設定し、時間制で複数回実施する。

期 日	内 容	参加者数
令和3年 4月 3日	①「風を描こう!」 ②「カクカクつなげて遊ぼう!」	37人
4月10日	①「風を描こう!」 ②「カクカクつなげて遊ぼう!」	31人
4月24日	①「カクカクつなげて遊ぼう!」 ②「お気に入りの椅子をみつけよう!」	31人
5月 1日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	—
9月 4日	①「お気に入りの椅子をみつけよう!」 ②「MOMAS探検隊!」	11人
12月18日	①「お気に入りの椅子をみつけよう!」 ②「MOMAS探検隊!」 ③「洗濯ばさみで絵を描こう!」	51人
令和4年 1月 8日	①「お気に入りの椅子をみつけよう!」 ②「MOMAS探検隊!」 ③「MOMASを冬色に染めよう!」	67人
1月15日	①「お気に入りの椅子をみつけよう!」 ②「MOMAS探検隊!」 ③「MOMASを冬色に染めよう!」	36人

※内容詳細

- ・「風を描こう!」風になったつもりでアクリルボードに風景を描いたり、描いた風景に登場したりして楽しむ。
- ・「カクカクつなげて遊ぼう!」松本薫《Cycle90°》の形や動きの面白さに気付き、作品づくりを楽しむ。
- ・「お気に入りの椅子をみつけよう!」グッドデザインの椅子を鑑賞し、お気に入りの椅子を見つけて楽しむ。
- ・「MOMAS探検隊!」館内を巡り、作品を見つけたり美術館の裏側を見たりして楽しむ。
- ・「MOMASを冬色に染めよう!」MOMASの文字の形のオブジェに、冬をイメージする装飾をして楽しむ。

キ 「サマー・アドベンチャー」

夏休み期間限定の特別プログラムを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和3年 8月 7日	「光るたまごをつくろう！」 (和紙を使ってたまご型のランプを作る。講師：みやうか)	5組10人	10人
8月14日	フリープログラムDAY (時間制のフリープログラムを行う。)	内容によって異なる	94人
8月21日	「新聞紙とガムテープで生き物をつくろう！」 (新聞紙とガムテープを使って自分の好きな生き物を作る。講師：関口光太郎)	10人×2部	19人
8月28日	「みる+つくるサマー・アドベンチャー特別版 色のリズムで!アーティスト♪」 (館内の作品を数点鑑賞し、色彩がつくるリズムを感じて作品づくりを楽しむ。)	10人	4人

ク 「もますまつり」

県民の日に、誰でも参加できるプログラムを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和3年 11月14日	①「お気に入りの椅子をみつけよう！」 ②「MOMAS探検隊！」	各回1組 (各プログラム 8回実施)	31人

(2) 「夏休みMOMASステーション」

夏休みに来館した子供たちが美術館を効果的に活用できるように、必要に応じて情報提供やアドバイス等を行った。

※公立小中学校の夏休み期間に合わせて休館日を除き毎日開催 (7/17～8/25)

令和3年度利用者数：1,234人

(3) 「夏休みガイド・ツアー」

来館した小・中学生を主な対象として、夏休み期間中に3回程度、各回午前中の30分間、常設展示室をサポート・スタッフが対話型の鑑賞を行いながら案内する。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。

7 学校との連携

(1) 教員美術講座の開催

美術館を活用した鑑賞指導に関する講演会等を開催し、学校における美術館利用促進と鑑賞教育の充実を図る。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和3年 8月10日	「右脳で描く！クレパス画」 (講師：代 淳子／上尾市立西中学校 教諭)	20人	17人
8月18日	「カラダで・うごいて、みる・アート！」 (講師：新井英夫／体奏家・ダンスアーティスト)	25人	12人

(2) 埼玉大学との授業連携・他大学との協力

埼玉大学の学生が、美術館の教育普及事業に参画した場合、その活動を大学の単位として認定する。※令和3年度単位認定：16人

また、他大学の学生にも、様々な教育普及事業に協力してもらった。

(3) 博物館実習生の受け入れ

「埼玉県博物館等の博物館実習生受入要領」に基づき、実習を行った。

※令和3年度受入：16大学 17人

(4) 学校による団体利用の受入（随時実施）

以下の7つの内容を組み合わせて鑑賞・体験学習を行った。

- ① 1階展示室「MOMAS コレクション」案内
- ② 2階展示室「企画展」案内
- ③ かならず出会える作品たち（屋外彫刻）案内
- ④ グッドデザインの椅子鑑賞
- ⑤ ワークショップ「洗濯ばさみで絵を描こう！」等
- ⑥ アートカードを使った鑑賞
- ⑦ バックヤード見学

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、⑤、⑥の実施を見送った。

※令和3年度実績：28校 1,282人

(5) 学校への授業協力（随時実施）

以下の内容の他、実態やねらいに合わせて出張授業を行った。

- ① 「知ってる？ピカソ！」
- ② 「日本画って何だろう？」
- ③ 「みつめよう！シャガールさんのこの思い」
- ④ 「見て★座って！お気に入りの椅子を見つけよう！」
- ⑤ 「洗濯ばさみで絵を描こう！」

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、⑤を含む造形遊びやカードなどを操作する内容は見送った。

※令和3年度実績：48校 153学級 4,668人

(6) 研修協力（随時実施）

依頼に応じて、各学校の校内研修や市町村単位での図工・美術の授業研究において講義等を行った。

※令和3年度実績：5件

(7) 学校への複製画やアートカードの貸し出し（随時実施）

当館収蔵作品の複製画や複製パネル、アートカードなどの教材を貸し出した。

※令和3年度実績：31件 270点

(8) 「ミュージアム・キャラバン」の実施

県内の学校をアーティストと共に訪問してワークショップを行い、鑑賞や制作活動を通して児童生徒に美術の楽しさや美術的な価値観・視点を伝えるための授業を展開した。令和3年度は2校で実施した。

(9) 公募プログラム「カラダで・みる、うごいて・みる！」の開催

美術館における教育普及活動の価値を広くアピールし、学校連携の強化・継続を図るため、県内の学校を対象とした公募プログラムを実施した。令和3年度は第3回を開催する予定で進めたが、新型コロナウイルス感染症対策のため学校での指導が困難と判断し、中止した。

8 ボランティア活動

(1) 美術館サポーター

常設展の解説ガイドを行うボランティアとして平成12年に発足したもので、美術館が月1回開催する研修会への出席をはじめ、自主的な研修を重ねている。主な活動として、「MOMASコレクション」開催中の毎日、午後2時から30分程度、来館者の鑑賞を支援するため、美術館サポーターが1階展示室内において作品解説を行った。令和3年度、作品ガイドは新型コロナウイルス感染症対策のため実施を見送った。研修会は感染対策を講じて行い、状況によっては資料送付のみ行った。

※令和3年度登録：38名

(2) 教育普及サポート・スタッフ

「夏休みMOMASステーション」、ツアーガイド、「MOMASのとびら」等の教育普及事業をサポートするボランティア・スタッフ、教員や美術教育に関心をもつ学生等が参加し、毎年6月中旬から7月初めまでに行う研修を経て、1年間の任期で活動を行った。

※令和3年度登録：新規85名、継続53名、合計138名

(3) 彫刻ボランティア

平成29年度より、彫刻ボランティアは土曜日の子供向け普及事業「MOMASのとびら」において、彫刻洗浄プログラムを行う際の外部講師として活動している。令和3年度より洗浄プログラムの各回の定員を制限する代わりに、春季と秋季に2回ずつ（春季：5／8、15 秋季：9／11、18）実施することとしたが、春季は新型コロナウイルス感染症対策のため2回とも中止した。秋季は、1回は実施できたが、1回は台風のため中止となった。

※令和3年度登録：9名

9 「椅子」の有効活用

国内外のグッドデザインの椅子を、入館者に自由に鑑賞してもらう。

これらの椅子は、企画展やMOMASコレクションの展示替えに合わせて、定期的に入れ替えを行い、常時20脚から30脚程度を館内の各所に配置するとともに、当館ホームページの「今日座れる椅子」コーナーで紹介してきたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため限定的な配置をした。

また、学校への授業協力や「MOMASのとびら」プログラムでも活用した。

10 一般展示室の利用状況

No.	展覧会名	開催期間 R3年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
1	第33回溪水会展	4月6日	4月11日	6	4	絵画、ちぎり絵、書ほか	42	446	74
2	第36回記念さいたま蘭秀100選展	4月13日	4月18日	6	1	書	56	485	80
3	芳賀猛夫個展	4月26日	5月3日	6	1	油彩、ドローイング、アクリル	57	274	45
4	第24回埼玉二科展	5月4日	5月9日	6	1~4	油彩、彫刻、デザイン	128	882	147
5	11thラルゲット展	6月1日	6月6日	6	2	日本画、水彩、染色他	41	445	74
6	第40回埼玉県高等学校写真連盟写真展	7月7日	7月11日	5	1	写真	500	816	163
7	ポーニア展	7月6日	7月11日	6	3	油彩、工芸ほか	34	393	65
8	flowers	7月7日	7月11日	4	4	油彩	20	188	47
9	2021埼玉モダンアート展	7月13日	7月18日	6	2・3	水彩、油彩、版画ほか	6	456	76
10	埼玉独立展	7月13日	7月18日	6	1	水彩、油彩、アクリル	62	496	82
11	第47回埼玉二紀展	7月20日	7月25日	6	1~4	油彩、彫刻	137	946	157
12	第30回記念旺玄会埼玉支部展	7月27日	8月1日	6	2~4	絵画、アクリル、版画ほか	141	721	120
13	第5回展覧会書展	8月3日	8月8日	6	1・3	書	340	876	146
14	第55回埼玉平和美術展	8月10日	8月15日	6	1~4	絵画、版画、彫刻ほか	310	1,047	174
15	深沢 巧展	8月24日	8月29日	6	4	油彩	38	455	75
16	ヨシズミ トシオ展	8月31日	9月12日	12	4	絵画、版画、水墨画	42	836	69
17	ムサ美埼玉2021展	9月7日	9月12日	6	1	絵画、版画、彫刻ほか	126	830	138
18	第13回フォトサークル・オブト展	9月7日	9月12日	6	2	写真	138	805	134
19	第8回「私の自然展」	9月7日	9月12日	6	3	写真	53	696	116
20	第64回埼玉書道展	9月17日	9月19日	3	1~4	書	766	912	304
21	第38回埼玉県写真サロン	9月21日	9月26日	6	1	写真	402	1,106	184
22	第22回地平展	9月21日	9月26日	6	2	絵画、版画、彫刻ほか	51	680	113
23	フォトグループWAVE 第35回写真展	9月21日	9月26日	6	3	写真	92	725	120
24	行雲流水展 付 鴻雁	9月21日	9月26日	6	4	アクリル、油彩	39	596	99
25	第34回埼玉創元展(公募)	9月28日	10月3日	6	1	水彩、油彩	80	786	131
26	musa2アート&デザイン展2021	9月28日	10月3日	6	2	絵画、版画、彫刻ほか	45	614	102
27	第39回キャンフォトクラブ浦和写真展	9月28日	10月3日	6	3	写真	30	430	71
28	第53回第一美術協会埼玉支部展	10月5日	10月10日	6	1	絵画、版画、工芸	150	1,184	197
29	第54回埼玉三軌展	10月5日	10月10日	6	2・3	絵画、版画	48	712	118
30	第34回溪水会展	10月5日	10月10日	6	4	絵画、ちぎり絵、書ほか	49	623	103
31	公募 ZEN展	10月12日	10月17日	6	1	絵画、版画、彫刻ほか	237	1,136	189
32	第20回美術協会純展・埼玉支部展	10月12日	10月17日	6	2	水彩、油彩、ペン画ほか	34	285	47
33	第29回工芸新樹会公募展	10月19日	10月24日	6	2	工芸	43	359	59
34	写真展 [福島にて/車椅子の旅]	10月19日	10月24日	6	3	写真	44	370	61
35	全日本写真連盟 浦和支部写真展	10月19日	10月24日	6	4	写真	46	519	86
36	第42回太平洋埼玉展	10月26日	10月31日	6	1	水彩、油彩、版画ほか	87	805	134
37	第25回西遊会美術展	10月26日	10月31日	6	4	水彩、油彩	54	726	121
38	2021 CAFネビュラ展	11月3日	11月14日	11	1~4	絵画、版画、彫刻ほか	91	3,203	291

No.	展覧会名	開催期間 R3年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
39	第64回埼玉県高校美術展	11月17日	11月21日	5	1~4	絵画、版画、彫刻ほか	858	2,882	576
40	第60回埼玉県高等学校書道展覧会	11月25日	11月28日	4	1~4	書	690	953	238
41	武蔵野美術大学卒業生会 東京埼玉支部展	11月30日	12月5日	6	1	絵画、版画、彫刻ほか	153	1,174	195
42	第3回 水彩ROMAN展	11月30日	12月5日	6	2・3	水彩	200	881	146
43	青山 久子展	11月30日	12月5日	6	4	日本画	27	558	93
44	第12回埼玉県障害者アート企画展	12月8日	12月12日	5	1・2	絵画、版画、彫刻ほか	600	1,450	290
45	竹内君恵絵画展	12月7日	12月19日	12	3	水彩、アクリル	50	943	78
46	第55回全日本書道芸術展	12月14日	12月19日	6	1・2	書、デザイン書道ほか	204	442	73
47	第56回「郷土を描く児童生徒美術展」	12月25日	12月26日	2	1~4	絵画	120	713	356
48	第24回凧の会展	1月11日	1月16日	6	1~4	油彩、彫刻、写真	212	598	99
49	文教大学教育学部学校教育課程美術専修 卒業制作展	1月25日	1月30日	6	1	絵画、彫刻、工芸ほか	69	543	90
50	文教大学美術専修 0B・06展	1月25日	1月30日	6	4	絵画、彫刻ほか	18	430	71
51	第45回埼玉国展	2月1日	2月6日	6	1	油彩、写真	64	583	97
52	埼玉県立美術系高等学校 作品展・卒業制作展	2月9日	2月13日	5	1~4	絵画、版画、彫刻ほか	800	1,582	316
53	埼玉大学教育学部 美術専修 彩展	2月22日	2月27日	6	2・3	絵画、彫刻、デザインほか	22	561	93
54	孔可立書法作品展	2月22日	2月27日	6	4	書	60	285	47
55	第45回埼玉現展	3月1日	3月6日	6	3・4	絵画、写真、デザインほか	85	382	63
56	第47回埼玉書道三十人展	3月8日	3月13日	6	1	書	47	1,432	238
57	ヨシズミ トシオ展	3月8日	3月20日	12	4	油彩、版画、水墨画ほか	43	1,057	88
58	SMFアートの宝船展 くもをたがやす	3月16日	3月20日	5	1	アート全般	26	476	95
59	第27回彩の国さいたまきりえ展	3月22日	3月27日	6	2	きりえ	73	1,027	171
60	第17回彩の国写真倶楽部写真展	3月22日	3月27日	6	4	写真	43	694	115
61	月の春休みのひと休み	3月27日	4月3日	6	4	水彩、彫刻、映像	9	450	75
222日							合計	47,960人	216人

埼玉県立近代美術館 一般展示室利用状況（年度別）

令和4年3月31日現在

年度		一般展示室					備考
		1 (612.8㎡)	2 (231.5㎡)	3 (138.9㎡)	4 (161.3㎡)	計 (1,144㎡)	
11	利用可能週	50	50	50	50	200	112件
	利用週	48	49	49	50	196	
	利用率	96	98	98	100	98.0%	
12	利用可能週	49	49	49	49	196	104件
	利用週	46	47	48	49	190	
	利用率	93.9%	95.9%	98.0%	100%	96.9%	
13	利用可能週	26	26	26	26	104	56件
	利用週	26	26	26	26	104	
	利用率	100%	100%	100%	100%	100%	
14	利用可能週	51	51	51	51	204	107件
	利用週	47	49	47	50	193	
	利用率	92.2%	96.1%	92.2%	98.0%	94.6%	
15	利用可能週	51	51	51	51	204	105件
	利用週	43	49	47	51	190	
	利用率	84.3%	96.1%	92.2%	100.0%	93.1%	
16	利用可能週	51	51	51	51	204	106件
	利用週	47	48	50	51	196	
	利用率	92.2%	94.1%	98.0%	100.0%	96.1%	
17	利用可能週	51	51	51	51	204	91件
	利用週	46	50	50	48	194	
	利用率	90.2%	98.0%	98.0%	94.1%	95.1%	
18	利用可能週	51	51	51	51	204	93件
	利用週	47	48	50	49	194	
	利用率	92.2%	94.1%	98.0%	96.1%	95.1%	
19	利用可能週	51	51	51	51	204	97件
	利用週	50	48	50	51	199	
	利用率	98.0%	94.1%	98.0%	100%	97.5%	
20	利用可能週	51	51	51	51	204	106件
	利用週	51	50	49	50	200	
	利用率	100%	98.0%	96.1%	98.0%	98.0%	
21	利用可能週	51	51	51	51	204	103件
	利用週	48	45	50	51	194	
	利用率	94.1%	88.2%	98.0%	100%	95.1%	
22	利用可能週	52	52	52	52	208	102件
	利用週	48	48	48	48	192	
	利用率	92.3%	92.3%	92.3%	92.3%	92.3%	
23	利用可能週	51	51	51	51	204	107件
	利用週	46	46	48	47	187	
	利用率	90.2%	90.2%	94.1%	92.2%	91.7%	
24	利用可能週	51	51	51	51	204	113件
	利用週	45	49	50	51	195	
	利用率	88.2%	96.1%	98.0%	100.0%	95.6%	
25	利用可能週	19	19	19	19	76	40件
	利用週	19	19	19	19	76	
	利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
26	利用可能週	19	19	19	19	76	44件
	利用週	19	19	19	19	76	
	利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
27	利用可能週	47	47	47	47	188	112件
	利用週	45	44	46	47	182	
	利用率	95.7%	93.6%	97.9%	100.0%	96.8%	
28	利用可能週	48	48	48	48	192	104件
	利用週	43	37	42	46	168	
	利用率	89.6%	77.1%	87.5%	95.8%	87.5%	
29	利用可能週	47	47	47	47	188	100件
	利用週	44	38	40	42	164	
	利用率	93.6%	80.9%	85.1%	89.4%	87.2%	
30	利用可能週	47	47	47	47	188	92件
	利用週	39	37	36	38	150	
	利用率	83.0%	78.7%	76.6%	80.9%	79.8%	
元	利用可能週	43	43	43	43	172	86件
	利用週	38	34	35	40	147	
	利用率	88.4%	79.1%	81.4%	93.0%	85.5%	
2	利用可能週	39	39	39	39	156	40件
	利用週	16	12	15	22	65	
	利用率	41.0%	30.8%	38.5%	56.4%	41.7%	
3	利用可能週	50	50	50	50	200	61件
	利用週	29	25	24	28	106	
	利用率	58.0%	50.0%	48.0%	56.0%	53.0%	

(※利用実績には県展を含む【R2及びR3を除く】)

■令和3年度入館者数一覧

令和4年3月31日現在

	入館者数	展 示 事 業						普 及 及 事 業					貸 館 事 業		
		MOMAS コレクシヨ ン	コレクシヨ ン 4つの 水紋	ボイス+パ レルモ	美男におわ す	大・タイ ガー立石展	開館40周 年記念展	企画展計	企画展 関連	MOMAS コレクシヨ ン 関連	教育・普及 関連	SMFア ト 関連	資料閲覧室	一 般 展示室	埼玉県美術 展覧会
開 催 期 間	4/1(木) ～ 3/31(木)	4/1(木) ～ 3/31(木)	4/1(木) ～ 5/16(日)	7/10(土) ～ 9/5(日)	9/23(木) ～ 11/3(木)	11/16(火) ～ 1/16(日)	2/5(土) ～ 3/31(木)								
日	(日)数	289	42	51	36	46	48	223	1	0	36	100	222	中止	
観 覧 者 数	(人)	37,849	4,114	8,455	11,714	12,782	3,904	40,969	26	0	628	680	47,960	中止	
利 用 者 数	(人)	130	97	165	325	277	81	183	26		17	6	216		
1 日 当 た り 平 均	(人)	7,777	2,158	4,240	6,593	7,136	1,902	22,029							
一 般 個 人		1,532	240	391	454	503	221	1,809							
一 般 団 体		1,078	231	598	866	358	252	2,305							
有 料	入館料 無 料	31	12	18	25	13	10	78							
大 高 団 体		10,418	2,641	5,247	7,938	8,010	2,385	26,221							
合 計	(人)	27,431	1,473	3,208	3,776	4,772	1,519	14,748	-	-	-	-	-	-	

月別入館者数

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入 館 者 数	7,435	8,224	5,851	9,086	10,824	13,071	17,767	17,112	11,170	9,664	8,593	11,330	130,127

令和3年度 決算の概要

(単位：千円)

事業名	予算額	割合 (%)	決算額	割合 (%)	残 額
企画展事業費	59,471	29.9%	57,815	30%	1,656
美術館管理運営費	67,644	34.0%	66,428	34%	1,216
教育財産管理費	6,784	3.4%	6,476	3%	308
事務局費〔経常費〕 (財務課で計上)	65,012	32.7%	64,554	33%	458
合 計	198,911	100%	195,273	100%	3,638

(収 入)

(単位：千円)

区 分	予算額	割合 (%)	決算額	割合 (%)	増減額	増減率 (%)
観 覧 料 収 入	25,810	13%	29,871	15%	4,061	16%
一般展示室等使用料	13,746	7%	10,353	5%	△ 3,393	-25%
行政財産使用料	4,869	2%	4,311	2%	△ 558	-11%
図録等売払収入	6,164	3%	8,424	4%	2,260	37%
助 成 金	2,268	1%	2,268	1%	0	-
そ の 他	977	0%	292	0%	△ 685	-70%
一 般 財 源	145,077	73%	139,754	72%	△ 5,323	-4%
合 計	198,911	100%	195,273	100%	△ 3,638	-2%

令和4年度 事業実施状況

1 常設展示事業

(1) MOMASコレクション（常設展）の開催

年度は4期に分け、多彩なテーマと切り口で収蔵作品を中心に一部借用作品も交えて企画性の高い展示を実施している。

会 期	内 容	展 示 作品数	期 間	観 覧 者 数
第1期	<p>○「セレクション」 ルノワールほか、MOMASコレクションの名品を紹介。</p> <p>○「デザインで語るユートピア — 1960-70年代イタリアから」 デザインを通して物質文化や生活環境が問い直された1960-70年代イタリア。その動きをデザイン椅子や関連資料から紹介する。</p> <p>○「特集：孫雅由の小宇宙」 生成と消滅、痕跡と不在など、哲学的思索と共に制作を続けた孫雅由（1949-2002）。県内の所蔵家・河正雄氏から寄贈された孫の小品群から、その思考と実践を探る。</p>	109点 (前後 期合計)	<p>自 4月30日（土）</p> <p>至 8月28日（日）</p> <p>（101日間）</p>	<p>7,927人 1日当たり 104人</p> <p>うち有料観覧者数 5,693人 1日当たり 75人</p> <p>（7月31 日現在）</p>
第2期	<p>○「セレクション」 ピカソほか、MOMASコレクションの名品を紹介。</p> <p>○「さいきんのたまもの」 昨年度に新たに収蔵した寄贈作品を紹介。</p> <p>○「月を待つ—日本画の夜景」 日本画における光の表現に注目し、横山大観や森田恒友など様々な画家の作品を紹介。</p>	一点	<p>自 9月3日（土）</p> <p>至 11月27日（日）</p> <p>（77日間）</p>	<p>一人 1日当たり 一人</p> <p>うち有料観覧者数 一人 1日当たり 一人</p>

第3期	<p>○「セレクション」 シャガールほか、MOMAS コレクションの名品を紹介。</p> <p>○「まるく／まわる」 円や球体をモチーフにした作品や、回転する作品に焦点をあてる。</p>	一点	<p>自 12月3日（土）</p> <p>至 令和5年 2月26日（日）</p> <p>（68日間）</p>	<p>—1日当たり —人</p> <p>うち有料観覧者数 —人 1日当たり —人</p>
第4期	<p>○「セレクション」 モネほか、MOMASコレクションの名品を紹介。</p> <p>○「倉田白羊と森田恒友」 同じ年に生まれ、親交のあった埼玉ゆかりの画家・倉田白羊（1881-1938）と森田恒友（1881-1933）。ふたりの画業と交友の足跡を、作品や資料を通して紹介する。</p> <p>○「奥原晴湖／菊沢武江」 南画家、奥原晴湖（前期展示）と日本画家、菊沢武江（後期展示）。埼玉ゆかりの画家をそれぞれ紹介する。</p>	一点	<p>自 令和5年 3月4日（土）</p> <p>至 令和5年 5月7日（日）</p> <p>（57日間）</p>	<p>—人 1日当たり —人</p> <p>うち有料観覧者数 —人 1日当たり —人</p>

(2) サンデー・トークの開催

例年、MOMASコレクション等の展示作品から毎回1点を選び、学芸員による解説を実施しているが、新型コロナウイルス感染症対策のため開催は未定。

2 企画展示事業

(1) 企画展の開催

特定のテーマのもとに、国内外の作品を年4回展示する。

展覧会名	内 容	作品数 (予定)	期 間	観覧者数 (予定)
開館 40 周年記念展 扉は開いているか —美術館とコレク ション 1982—2022	1982年11月3日に開館し、2022年に開館40周年を迎える当館の活動を、収蔵作品や資料によって振り返るコレクション展。 本展では、美術館の原点ともいえる開館前後の活動、展覧会などの活動と結びついて形成されたコレクション、美術館の建築や館内外の空間に応答するように生み出された作品やプロジェクトなど、さまざまな視点から美術館の活動とコレクションをひもといた。 埼玉県立近代美術館がこれまでに築いてきた土台を検証するとともに、これからの美術館を展望した。	約 180 点	自 2月5日(土) 至 5月15日(日) (88日間/R4年 度・40日間)	令和4年 度観覧者 数・4,550 人 1日当 たり 113人 うち有料 観覧者数 2,667人 1日当 たり 66人
シアトル→パリ 田中保とその時代	田中保(1886-1941)は岩槻に生まれ、18歳で移民としてシアトルに渡ると、働きながら絵画を学び、画家としての活動を始めた。 1920年にパリに移住した後は、サロン・ドートンヌなどの展覧会に出品を重ねて評価を高め、肖像画や裸婦像を中心に自らの芸術を開花させた。この展覧会では、当館のコレクションを中心に借用作品を交えて、田中の画業を振り返る。あわせて田中が生活したシアトルの状況や、パリで同時期に活躍した美術家などを紹介し、田中の生涯と活動を時代とともに検証する。	約 100 点	自 7月16日(土) 至 10月2日(日) (71日間)	(7月末 現在) 1,663人 1日当 たり 110人 うち有料 観覧者数 888人 1日当 たり 59人

展覧会名	内 容	作品数 (予定)	期 間	観覧者 見 込
桃源郷通行許可証	芸術に触れるということは、私たちが今立つ現在地から遠く離れた時間や空間を経験することでもある。本展では、現在活躍中の6名の作家の作品と当館のコレクションとが出会う新たな空間の創出を試みる。コレクションと、様々な時代・ジャンルの美術作品や事物とを対照させて展示することによって、時空を超える芸術の力を探る。	約 80 点 (予定)	自 10月22日(土) 至 1月29日(日) (81日間)	10,000人
戸谷成雄	戸谷成雄(1947-)は1970年代から彫刻家としてのキャリアをスタートさせ、戦後の日本美術における彫刻表現を牽引してきた。本展では初期作品や「森」、「ミニマルバロック」シリーズなどの代表作を紹介し、その活動の全貌を振り返る。	約 17 点 (予定)	自 2月25日(土) 至 5月14日(日) (69日間/R4年度・30日間)	6,240人 (R4年度見込)

(2) 関連事業等の開催

新型コロナウイルスの感染状況に考慮しながら、企画展ごとに感染症対策を講じた講演会等を実施する。

ア 桃源郷通行許可証

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
11月19日(土)	ミュージアム・カレッジ 「トランジット—新たな敷居学の提案」 ①「現代作家×コレクション：企画展「桃源郷通行許可証」について」	嶋原悠(当館学芸員)	60人	—

12月3日（土）	ミュージアム・カレッジ 「トランジット—新たな敷居学の提案」 ②「異界の演出方法—近世期歌舞伎の舞台装置と小道具について—」	トーヴェ・ビュールク (埼玉大学教授)	60人	—
12月10日（土）	ミュージアム・カレッジ 「トランジット—新たな敷居学の提案」 ③「老荘思想の基本問題—政治思想を中心に—」	西山尚志 (埼玉大学准教授)	60人	—
12月18日（日）	ミュージアム・カレッジ 「トランジット—新たな敷居学の提案」 ④「境界を生きる現代アメリカのアーミッシュ」	野村奈央 (埼玉大学准教授)	60人	—

(3) ギャラリー・トークの開催

新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、企画展ごとに感染症対策を講じた実施を検討する。

3 美術作品収集事業

近現代美術を対象に、本県にゆかりのある作家及び本県の美術界に影響を与えた国内外の作家の作品を収集する。

4 一般向け普及事業

(1) ミュージアム・レクチャーの開催

多くの方々に美術および関連領域に親しんでもらうため、レクチャーを含むプログラムを開催する。内容については当館で開催する展覧会や収蔵作品と必ずしも結び付けず、聴講者が今後当館だけでなく様々な場で作品を鑑賞する時や、制作を行う際の刺激となることをねらいとする。

期 日	内 容	講 師	定員等
調整中	日本画に関すること	交渉・調整中	・定員：内容等に応じて設定 ・参加費：無料

(2) 一般団体案内

企画展やMOMASコレクション展を観覧する2名以上の団体を対象に、別室でスライドによる案内（「スライド・トーク」）を行う。案内内容は、観覧する展覧会の見どころや作品解説、美術館全体の案内、屋外彫刻の解説など、希望に応じた内容・時間で対応する。

なお、視覚障がい者を対象としたガイドや出張講座も受け付ける。

(3) 資料閲覧室の運営

国内外の美術図書、雑誌を公開するとともに、美術情報の提供や資料相談を行う。

開室日時：火・木・土曜日の13時～17時

(4) 広聴広報活動

ア 県民の多様な要望を美術館活動に反映させるため、アンケートコーナーを設置する他、企画展、MOMAS コレクション、普及関連の講座等にあわせてアンケート調査を実施する。

イ アンケートやインターネットで受け付けた質問や要望の内容に応じて、随時回答を行う。

- ウ 美術館広報紙「ソカロ (MUSEUM NEWS)」、「MUSEUM CALENDAR」及び企画展ポスターやちらし、学校向けの利用案内等を作成し、県内の情報拠点や全小・中・高、特別支援学校、全国美術館等に配布する。
- エ 美術館ホームページやTwitter、Facebook、YouTube を活用して、企画展やMOMASコレクション、その他の様々な催し物の内容や利用案内など、最新の美術館情報を発信する。
- オ プレスリリースの配信、記者発表、プレス内覧会の実施など、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、WEB 等各種の媒体に対して積極的なパブリシティに努める。
- カ Google Arts & Culture に参加し、当館のコレクションやストリートビューを全世界に向けて発信する。
- キ MOMAS コレクション及び企画展の開催にあわせ、JR 東日本大宮支社の協力を得て北浦和駅構内にポスターを掲出する。
- ク 北浦和地区の自治会、商店会との協力関係を築き、企画展チラシの回覧や掲示を行う。
- ケ 埼玉りそな銀行北浦和西口支店の協力を得て、同店の大型ディスプレイにて美術館の情報を発信する。
- コ 県民の日に MOMAS コレクション観覧料無料サービスを実施する。

5 美術館の利用促進事業

(1) 北浦和公園ポリス・コンサート

北浦和公園を活用し、美術館利用を促進する事業を実施する。令和3年度は、警察の判断により中止した。

期 日	内 容	場 所	客席	参加者数
令和4年 6月4日 (土)	「北浦和公園ポリス・コンサート」 出演：埼玉県警察音楽隊・カラーガード隊 主催：埼玉県警察本部広報課	北浦和公園	100	客席100 見学200

(2) ファミリー鑑賞会

ベビーカーの赤ちゃんやよちよち歩きのお子様と一緒に展覧会をゆっくりご覧いただけるよう、MOMASコレクション「ファミリー鑑賞会」を実施する。春秋2回の実施のうち、令和4年度の春季は新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。

期 日	内 容	参加者数
未定 ※秋季の開催を検討	スタッフによる作品解説及び観覧サポート	—

6 子供向け事業

(1) 「MOMASのとびら」

主に土曜日に「MOMASのとびら」としてワークショップを開催する。

各ワークショップは、職員を中心に、授業連携をしている埼玉大学の学生や当館ボランティア「教育普及サポート・スタッフ」の協力を得て実施する。アーティストを講師に招くこともある。

令和3年度より、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、より安全に実施できるプログラムに絞って、全て事前予約制で実施することとした。各回の定員を少人数にすることで参加者が限られてしまうため、プログラムによっては同じ内容を複数回行うようにした。また、展覧会の作品鑑賞を行うプログラムについては、MOMASコレクション関連プログラムと企画展関連プログラムを分けず、柔軟に対応できるようにした。令和4年度も事前予約制とし、人数制限を設け実施している。

ア 「みる+つくる」

MOMASコレクションや企画展を鑑賞し、それをもとに簡単な制作を行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和4年 10月 8日	— 未定 —	12人	—
10月22日	— 未定 —	〃	—
11月 5日	— 未定 —	〃	—

イ 「親子クルーズ」

MOMAS コレクションや企画展を親子で鑑賞し、それをもとに簡単な制作を行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和4年 6月25日	「かく かく しかくでランプを作ろう！」	6組	6人
7月 2日	※6月25日と同様。	〃	10人
令和5年 2月 4日	— 未定 —	〃	—
2月11日	※2月 4日と同様。	〃	—

ウ 「み～っけ！」

幼児（4歳から）とその保護者の美術館デビューをねらい、美術館でのできごとを体いっぱい楽しむ。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和4年 6月 4日	「キラキラ枢機卿に大変身！」	6組	12人
6月11日	※6月4日と同様。	〃	11人
11月19日	— 未定 —	〃	—
12月 3日	※11月19日と同様。	〃	—

エ 「工房」

美術館ならではの制作活動を楽しむ。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和4年 7月16日	「板から椅子ができた！」 (デコパネを無駄なく使いミニチュア椅子をつくる。)	12人	11人
7月23日	※7月16日と同様。	〃	10人
令和5年 1月21日	— 未定 —	〃	—
1月28日	— 未定 —	〃	—
3月 4日	— 未定 —	〃	—
3月11日	— 未定 —	〃	—

オ 「彫刻あらいぐま」

屋外彫刻を親子で洗って鑑賞する。彫刻ボランティアが講師として活動する。

期 日	内 容	定員	参加者数
令和4年 5月 7日	「あらって見よう！彫刻作品」	2組	5人
5月14日	※4月9日と同様。	〃	4人
9月10日	— 未定 —	〃	—
9月17日	※9月10日と同様。	〃	—

カ 「フリープログラム」

天候・会場等に合わせ、誰でも参加できるプログラムを実施する。

内容によって適切な定員を設定し、時間制で複数回実施する。

期 日	内 容	参加者数
令和4年 4月 9日	「洗濯ばさみで絵をかこう！」 「MOMAS探検隊！」	33人
4月23日	4月9日と同様。	36人
4月30日	「お気に入りの椅子を見つけよう！」 「MOMAS探検隊！」	20人
8月13日	— 未定 —	—
10月 1日	— 未定 —	—
1月14日	— 未定 —	—

キ 「サマー・アドベンチャー」

夏休み期間限定の特別プログラムを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和4年 8月 6日	「お面をつくろう！」 (段ボールに様々な素材をつけて、お面をつくる。講師：平島鉄也氏)	12人	—
8月13日	フリープログラムDAY (時間制のフリープログラムを行う。)	内容によって異なる	—
8月20日	「カッコイイ緑をつくろう！」 (絵の具を使って、「カッコイイ緑」をつくる。講師：内海聖史氏)	12人×2部	—
8月27日	「みる+つくる サマー・アドベンチャー特別版」	12人	—

ク 「もますまつり」

県民の日に、誰でも参加できるプログラムを行う。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和4年 11月14日	— 未定 —	未定	—

(2) 「夏休みMOMASステーション」

夏休みに来館した子供たちが美術館を効果的に活用できるように、必要に応じて情報提供やアドバイス等を行う。

※公立小中学校の夏休み期間に合わせて休館日を除き毎日開催（7/16～8/25）

(3) 「夏休みガイド・ツアー」

来館した小・中学生を主な対象として、夏休み期間中に3回程度、各回午前中の30分間、常設展示室をサポート・スタッフが対話型の鑑賞を行いながら案内する。令和3年度中止。令和4年度も、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。

7 学校との連携

(1) 教員美術講座の開催

美術館を活用した鑑賞指導に関する講演会等を開催し、学校における美術館利用促進と鑑賞教育の充実を図る。

期 日	内 容	定 員	参加者数
令和4年 8月10日	「右脳でつくる！オリジナルりんご」 (講師：代 淳子／行田市立見沼中学校 教諭)	20人	

(2) 埼玉大学との授業連携・他大学との協力

埼玉大学の学生が、美術館の教育普及事業に参画した場合、その活動を大学の単位として認定する。

また、他大学の学生にも、様々な教育普及事業に協力してもらう。

(3) 博物館実習生の受け入れ

「埼玉県博物館等の博物館実習生受入要領」に基づき、実習を行う。

(4) 学校による団体利用の受入（随時実施）

以下の7つの内容を組み合わせて鑑賞・体験学習を行っている。

- ① 1階展示室「MOMAS コレクション」案内
- ② 2階展示室「企画展」案内
- ③ かならず出会える作品たち（屋外彫刻）案内
- ④ グッドデザインの椅子鑑賞
- ⑤ ワークショップ「洗濯ばさみで絵を描こう！」体験
- ⑥ アートカードを使った鑑賞
- ⑦ バックヤード見学

※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、⑤、⑥は中止。

⑦は人数制限を設けて実施している。

(5) 学校への授業協力（随時実施）

以下の内容の他、実態やねらいに合わせて出張授業を行っている。

- ① 「知ってる？ピカソ！」
- ② 「日本画って何だろう？」
- ③ 「みつめよう！シャガールさんのこの思い」
- ④ 「見て★座って！お気に入りの椅子を見つけよう！」
- ⑤ 「洗濯ばさみで絵を描こう！」

※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、⑤を含む造形遊びやカードなどを操作する内容は当面の間見送る。

(6) 研修協力（随時実施）

依頼に応じて、各学校の校内研修や市町村単位での図工・美術の授業研究において講義等を行っている。

(7) 学校への複製画やアートカードの貸し出し（随時実施）

当館収蔵作品の複製画や複製パネル、アートカードなどの教材を貸し出している。

(8) 「ミュージアム・キャラバン」の実施

県内の学校をアーティストと共に訪問してワークショップを行い、鑑賞や制作活動を通して児童生徒に美術の楽しさや美術的な価値観・視点を伝えるための授業を展開する。今年度2校で実施予定。

(9) 公募プログラム「カラダで・みる、うごいて・みる！」の開催

美術館における教育普及活動の価値を広くアピールし、学校連携の強化・継続を図るため、県内の学校を対象とした公募プログラム第4回を実施予定。

8 ボランティア活動

(1) 美術館サポーター

常設展の解説ガイドを行うボランティアとして平成12年に発足したもので、美術館が月1回開催する研修会への出席をはじめ、自主的な研修を重ねている。主な活動として、「MOMASコレクション」開催中の毎日、午後2時から30分程度、来館者の鑑賞を支援するため、美術館サポーターが1階展示室内において作品解説を行う。

令和4年度は屋外彫刻を中心とした作品のガイドや、天候に合わせて屋内から建築や彫刻などの作品を中心にガイドを再開している。研修会は感染対策を講じて行い、状況によっては資料送付のみ行う。

※令和4年度登録：38名

(2) 教育普及サポート・スタッフ

「夏休みMOMASステーション」、ツアーガイド、「MOMASのとびら」等の教育普及事業をサポートするボランティア・スタッフ。教員や美術教育に関心をもつ学生等が参加し、毎年6月中旬から7月初めまでに行う研修を経て、1年間の任期で活動を行う。

※令和4年度登録：新規70名、継続67名、合計137名

(3) 彫刻ボランティア

平成29年度より、彫刻ボランティアは土曜日の子供向け普及事業「MOMASのとびら」において、彫刻洗浄プログラムを行う際の外部講師として活動している。令和4年度は洗浄プログラムの各回の定員を制限する代わりに、春季と秋季に2回ずつ実施する。春季は5月7日と5月14日に実施。秋季は9月10日と9月17日に実施予定。

※令和4年度登録：9名

9 「椅子」の有効活用

国内外のグッド・デザインの椅子を、入館者に自由に鑑賞してもらおう。

これらの椅子は、企画展やMOMASコレクションの展示替えに合わせて、定期的に入れ替えを行い、常時20脚から30脚程度を館内の各所に配置するとともに、当館ホームページの「今日座れる椅子」コーナーで紹介してきたが、令和4年度現在、新型コロナウイルス感染症対策のため限定的な配置をしている。

また、学校への授業協力や「MOMASのとびら」プログラムでも活用する。

10 一般展示室の利用状況

令和4年7月31日現在

No.	展覧会名	開催期間 R4年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
1	第50回記念主体美術武蔵野作家展	4月5日	4月10日	6	2・3	油彩	59	562	93
2	第35回溪水会展	4月5日	4月10日	6	4	日本画、水彩、油彩、書、水墨画	89	561	93
3	第37回さいたま閨秀展	4月12日	4月17日	6	1	書	51	563	93
4	第8回栗田ひさし・梨伽の絵画二人展	4月12日	4月17日	6	3	日本画、水彩、水墨画	55	510	85
5	第14回彩ポタニカルアート展	4月12日	4月17日	6	4	水彩	48	578	96
6	第16回フォト・トルトゥー写真展	4月19日	4月24日	6	2	写真	50	483	80
7	2022 阿佐見昭彦写真展 記憶する眼 II	4月19日	4月24日	6	3	写真	38	504	84
8	創立45周年記念埼玉女流工芸展	4月28日	5月1日	4	1	工芸	155	1,144	286
9	現代中国芸術国際交流展第4回目	4月26日	5月1日	6	2・3	日本画、水彩、油彩、書	40	466	77
10	第11回五彩展	4月26日	5月1日	6	4	水彩、油彩、コラージュ	60	778	129
11	第25回埼玉二科展	5月3日	5月8日	6	1~4	油彩、彫刻、デザイン	97	1,198	199
12	第70回記念「県展」	6月1日	6月23日	20	1~4	日本画、油彩、彫刻、工芸、書、写真	1,961	23,104	1,155
13	第41回埼玉県高等学校写真連盟写真展	7月6日	7月10日	5	1	写真	495	1,011	202
14	第27回基の会展	7月5日	7月10日	6	2	油彩	27	314	52
15	思い出の作品展（若柳佳子）	7月5日	7月10日	6	4	油彩	46	312	52
16	第20回埼玉独立展	7月12日	7月17日	6	1~3	油彩	60	661	110
17	第1回エスポワール絵画展	7月12日	7月17日	6	4	水彩	38	635	105
18	第48回埼玉二紀展	7月19日	7月24日	6	1~4	油彩、彫刻	130	867	144
19	3人書展—良寛を語る—保坂春翔、中山信龍、作村光風	7月26日	7月31日	6	1	書	148	331	55
20	第16回書<縁en>展	7月26日	7月31日	6	2~4	書	182	300	50
							合計	34,882人	471人
74日 県展を除く 54日							※県展無	11,778人	218人

令和4年度 当初予算の概要

(支 出)

(単位：千円)

年度 事業名	4年度 当初予算	割合 (%)	3年度 当初予算	割合 (%)	増減額	増減率 (%)
企画展事業費	50,637	29.5%	63,540	39.0%	△ 12,903	-20.3%
美術館管理運営費	69,331	40.4%	70,507	37.9%	△ 1,176	-1.7%
教育財産管理費	1,400	0.8%	1,720	0.9%	△ 320	-18.6%
事務局費〔経常費〕 (財務課で計上)	50,323	29.3%	50,479	27.1%	△ 156	-0.3%
合 計	171,691	100.0%	186,246	105%	△ 14,555	-7.8%

(収 入)

(単位：千円)

年度 事業名	4年度 当初予算	割合 (%)	3年度 当初予算	割合 (%)	増減額	増減率 (%)
観 覧 料 収 入	20,540	12.0%	25,810	14.6%	△ 5,270	-20.4%
一般展示室等使用料	13,670	8.0%	13,670	7.3%	0	0.0%
行政財産使用料	4,869	2.8%	4,869	2.6%	0	0.0%
図録等売払収入	4,731	2.8%	6,164	3.3%	△ 1,433	-23.2%
そ の 他	1,053	0.6%	1,053	0.6%	0	0.0%
一 般 財 源	126,828	73.9%	134,680	72.3%	△ 7,852	-5.8%
合 計	171,691	100.0%	186,246	100.7%	△ 14,555	-7.8%

埼玉県
立近代
美術館

The Museum of Modern Art, Saitama

博物館施設評価について

1 博物館施設評価の目的

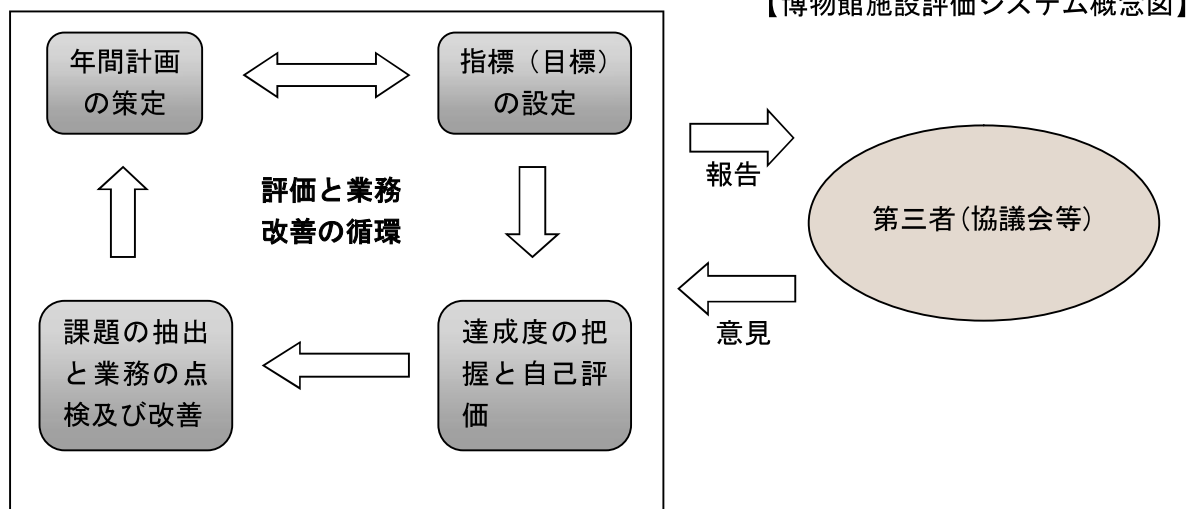
県立博物館施設は、効率的な運営や活動の内容を自律的に点検し、事務事業の改善に結びつけることにより、効率的な運営と活動水準の向上を実現するために、博物館の活動成果等を総合的に評価する。

(平成17年度から試行、平成18年度から本格導入)

2 対象施設

歴史と民俗の博物館、さきたま史跡の博物館、嵐山史跡の博物館、自然の博物館、近代美術館、文書館の6館

3 博物館施設評価の仕組み



4 評価結果の公表

評価の最終まとめ終了後、評価結果を各館ごとにホームページで公表する。

5 評価指標

- | | | |
|-----------------|------------|------------|
| (1) 数値目標による評価項目 | 全館共通 (4項目) | 館別独自 (9項目) |
| (2) チェックリスト項目 | 全館共通 (9項目) | 館別独自 (3項目) |

令和3年度博物館施設評価集計シート（3月末）

施設名 近代美術館

1. 数値目標による評価

(1) 全館共通項目

評価基準	
目標値の達成度(100%以上)	達成
目標値の達成度(100%未満)	未達

	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠	
				達成値			特記事項	
1	利用状況	利用者数	年間入館者とアウトリーチ参加者数	252,000	人	未達	教育振興基本計画に基づく年度別利用者目標	
				134,505	人			
2	利用状況	常設展観覧者	年間常設展観覧者数	38,000	人	未達	基準値: 37,992人(基準値は過去5年の内、最高・低年を除く3年の平均)	
				37,849	人			
3	広聴・広報	事業情報の発信	対マスコミ情報の発信件数	2,010	件	未達	基準値: 2,006件	
				1,287	件			
4	利用状況	経営努力	観覧料および事業等収入額	51,566,000	円	達成	当該年度予算計上額	
				56,580,299	円			

(2) 館別独自項目

評価基準	
目標値の達成度(100%以上)	達成
目標値の達成度(100%未満)	未達

	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠	
				達成値			特記事項	
1	企画展	入館者	企画展の観覧者数	42,000	人	未達	実施予定の企画展の予算積算人数 4つの水紋/4,114人、ボイス+パレルモ/8,455人、美男におわず/11,714人、大・タイガー立石展/12,782人、開館40周年記念展/3,904人	
				40,969	人			
2	学校との連携	学校利用	学校団体の美術館利用校数	62	校	未達	基準値: 61.3校 4月0校、5月1校、6月0校、7月1校、8月1校、9月1校、10月3校、11月11校、12月5校、1月0校、2月2校、3月3校	
				28	校			
3	学校との連携	授業協力	学校での鑑賞授業の回数	44	校	達成	基準値: 43.3校 4月0校、5月0校、6月4校、7月5校、8月0校、9月4校、10月8校、11月9校、12月4校、1月4校、2月4校、3月6校	
				48	校			
4	子供向け事業	MOMASのとびら	MOMASのとびら参加人数	400	人	達成	感染拡大防止に最大限配慮した計画数 10名×38回 5月4回、6月2回中止(コロナ対策)、9月1回中止(台風のため) 上記を除いた全31回実施のうち9回は複数のプログラムを会場を分けて実施	
				586	人			
5	利用状況	情報提供サービス	年間レファレンス対応件数	490	件	未達	基準値: 489件	
				345	件			
6	利用状況	インターネットの活用	年間HPアクセス件数	894,250	件	達成	基準値: 894,247件	
				1,064,810	件			
7	広報	広報成果	広報媒体での掲載件数	300	件	達成	基準値: 294件	
				315	件			
8	満足度	MOMASコレクションアンケート	アンケートでのMOMASコレクション常設展満足度	80.0	%	達成	第1期93%、第2期97%、第3期94%、第4期(3月末時点)96%	
				95	%			
9	満足度	企画展アンケート	アンケートでの企画展満足度	80.0	%	達成	4つの水紋満足度95%、ボイス+パレルモ91%、美男におわず97%、大・タイガー立石展98%、開館40周年記念展89%	
				94	%			

年度内に取り組んだ重点事業、新たな取り組み等

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展の開催 収蔵品を中心としたMOMASコレクションを4期にわけて開催：1期・4月24日～7月11日、2期・7月17日～10月17日、3期・10月23日～2月6日、4期・2月12日～4月24日。MOMASコレクションの名品を紹介する「セレクション」のコーナーのほか、調査研究に基づいたコーナー展示を実施。 ・企画展の開催 年間5本の企画展を実施：「コレクション 4つの水紋」3月23日～5月16日、「ボイス+パレルモ」7月10日～9月5日、「美男におわす」9月23日～11月3日、「大・タイガー立石展」11月16日～1月16日、「開館40周年記念展 扉は開いているかー美術館とコレクション 1982-2022」2月5日～5月15日 ・教育普及事業 学校団体案内、授業協力、教材貸出、アーティスト派遣事業「ミュージアム・キャラバン」、ワークショップ「MOMASのとびら」、教員美術講座 ・広報事業 ホームページ、ツイッター、フェイスブックでの情報発信 美術館広報紙「ソカロ」等の作成、企画展のポスター・ちらしの配布
事業の実施状況と過程	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展の開催 上半期はコロナ禍の影響があったが、観覧者数は33,218人(1月末現在)に達しており、実績は順調である。今年度も「色彩と軌跡ージャコモ・バッツラ《進行する線》を起点に」「特集：中野四郎」「かぐわしき女性像」など、調査研究を踏まえた企画性のあるコーナー展示を適宜開催した。また、4期では、昨年度新たに寄託されたファンゴッホの初期の貴重な水彩画作品も、調査研究の紹介とともに展示した。 ・企画展の開催 時宜に合った独自性のあるテーマで、歴史的意義も有する企画展のラインナップが組むことができた。コロナ禍の影響がある中、「ボイス+パレルモ」「美男におわす」「大・タイガー立石展」は高い関心を集め、有料率・図録購入率ともに高い水準で推移した。 「ボイス+パレルモ」の観覧料収入は予算額の96%を超え、予算の約1.5倍を売り上げた図録との合計で予算を超える状況であった。 「美男におわす」は観覧者数11,714人に対し有料率68%の実績となり、図録も完売し、歳入の上でも十分な実績となった。 「大・タイガー立石展」は観覧者数12,782人に対し有料率63%の実績となり、図録も完売し、歳入の上でも十分な実績となった。 ・教育普及事業の実施 学校関係については、博学連携を希望する学校からの依頼は多いものの、コロナ禍のため中止となる場合もあった。特に、団体案内は中止せざるを得ないことが複数件あった。授業協力やオンラインにするなど、対応している。また、次年度以降に変更する計画を立てるなど、連携が深められている。 ワークショップは、当面の間、人数を制限する必要があるが、より多くの参加者が楽しめるよう、複数のプログラムを異なる場所で実施する回なども設定した。 その他の教育普及事業についても、コロナ禍以前のようにはいかない部分もあるが可能な範囲で取り組むことができ、今後のよりよい運営に向けて検討している。 ・広報事業の取組 ソカロ等の発行・配布、SNSでのコレクションや展覧会の紹介など、その都度適切な時期に情報を発信してきた。
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展は企画性のある展示に加え、地域の作家である中野四郎の特集展示やファン・ゴッホ作品の科学調査を踏まえたコーナー展示などを行うことができ、多角的なプログラムを展開できた。観覧者数もほぼ目標を達成できた。 ・企画展に関しては、「ボイス+パレルモ」、「美男におわす」、「大・タイガー立石展」の3本が話題になり、観覧者数および図録の売り上げにおいて、十分な実績を残した。また、「大・タイガー立石展」はうらわ美術館と同時開催を行い、地域の美術館同士が連携する事業として互いに成果を上げることができた。2月からは、当館の開館時の様子や設立方針などを紹介する「開館40周年記念展 扉は開いているかー美術館とコレクション 1982-2022」を開催し、これまでとは異なるアプローチの企画展を実現できた。 ・教育普及事業は、コロナ禍のため、公募展など中止にせざるを得ない事業もあったが、人数制限などをしながら、可能な限り継続的に実施した。令和2年度は中止となったミュージアム・レクチャーは、専門家を招聘し、日本画の画材をテーマにした講演を行うことができた。

基礎データ

職員数 (学芸員数)	22人 (9人)	総予算額 (人件費を除く)	184,526,000円	職員一人あたりの県民人口	333,718人
収蔵資料総点数 (R3.3末現在)	3,783点	事業経費 (上記の内数)	134,047,000円	利用者一人あたりのコスト (令和2年度)	2,610.8円
令和2年度 収集資料点数	30点	特定財源予算額 (うち観覧料収入)	51,566,000円 (25,810,000円)	県民人口に対する利用者割合 (令和2年度)	1.00%

(注) 令和3年度4月1日現在の埼玉県推計人口は7,341,788人である

2. 全館共通項目チェックリスト

近代美術館

		評価基準	
		完了または順調に進捗していて問題がない状態	A
		着手状態乃至課題が残されている状態	B
		未着手状態	C
項目	チェック内容	評価(A~C)	備考
資料の収集	① 資料の収集方針、収集計画を策定しているか	A	美術資料収集方針
	② 収集方針、収集計画に基づき資料収集を行っているか	A	同上
	③ 特色あるコレクションの形成に努めているか	A	同上
	④ 有形資料に限らず、映像資料や情報資料等も積極的に収集しているか	A	同上
	⑤ 収集した資料についての調査を実施し、調書を作成しているか	A	美術資料取扱規程
	⑥ 客観的な評価を経て購入・受け入れをしているか	A	第1回資料選考評価委員会を開催。第2回を2月24日に開催。
	⑦ 規定の資料台帳を整備し、資料を登録しているか	A	美術資料取扱規程
	⑧ 規定の収集資料ラベルを設け、資料に添付しているか	A	同上
	⑨ 資料の基本データ記録を作成し管理しているか	A	同上
	⑩ 収集時に資料の殺虫処理・クリーニングを適切に行っているか	A	1月17日に実施
資料の保存管理	① 収蔵・展示資料の保存管理に関する要項が整備されているか	A	収集作品の保存管理要領
	② 収蔵・展示資料の保存管理に関する要項を職員に周知し、それに基づいた資料の保存管理を実施しているか	A	同上
	③ IPMの考えに基づいた資料の保存管理について、最新情報の収集や研修を行っているか	A	同上
	④ 資料特性に即した適切な収蔵施設を整備しているか	A	同上
	⑤ 収集資料の清掃・修理等を適切に行っているか	B	予算上、作品修復が滞っている
	⑥ 有害生物・室内ガス・光種等のモニタリングを実施し、その結果に基づき適切な対処をしているか	A	収集作品の保存管理要領
	⑦ 資料の殺虫殺菌処理を適切に行っているか	A	同上
	⑧ 温湿度の日常的な管理・記録化等を行っているか	A	同上
	⑨ 光量の管理を適切に行っているか	A	同上
	⑩ 資料の所在確認作業を定期的に行っているか	A	同上
	⑪ 資料の劣化状況を定期的に確認しているか	A	同上
	⑫ 資料の修復や保存処理等の措置を計画的かつ必要に応じて行っているか	B	予算不足のため、作品修復が滞っている
	⑬ 借用資料・寄託資料の更新手続きは適正に行われているか	A	美術資料取扱規程

項目	チェック内容	評価(A~C)	備考
資料の保存管理	⑭ 資料のデータベースを整備するとともに、情報を適宜更新しているか	A	美術資料取扱規程
	⑮ 収蔵庫の入退室管理簿を整備するとともに、適正に管理しているか	A	同上
	⑯ 収蔵資料の出納簿を整備するとともに、適正に管理しているか	A	同上
	⑰ 収蔵庫の鍵を適正に管理しているか	A	同上
資料の活用	① 収蔵資料の活用に関して規程・手続きを整備しているか	A	同上
	② 収蔵資料の活用に関する手続き等を公開しているか	B	関係例規集をWeb公開できていない。
	③ 収蔵資料を展示に活用しているか	A	MOMASコレクション、企画展で活用
	④ 収蔵資料の館外貸し出しに適切に対応しているか	A	近代美術館所蔵作品館外貸出基準
	⑤ 収蔵資料の特別利用(熟覧・撮影等・原板利用等)に適切に対応しているか	A	近代美術館条例
	⑥ 資料の基礎情報・解説付目録(紙・電子)を適宜作成・更新・公開しているか	A	収蔵品データベース
	⑦ 収蔵資料をホームページ等で紹介・更新しているか	A	収蔵品データベース、解説アプリ
常設展示	① 資料の展示環境を適切に管理しているか	A	定期的に環境調査を実施
	② 展示関連のサイン・パネル等がわかりやすいか	A	
	③ 展示室内に監視員や監視カメラ等を配置しているか	A	
	④ 展示情報を適宜修正・更新しているか	A	
	⑤ 展示設備等を適宜点検しているか	A	
	⑥ 展示ガイド等を作成しているか	A	展示替え毎に、解説アプリを活用
	⑦ 解説リーフレット等を作成しているか	A	出品リストの配布。
	⑧ 展示解説等を適宜実施しているか	C	コロナ禍で実施できていない。再開を検討中。
	⑨ 観覧者アンケートを実施し、満足度等を測定しているか	A	
	⑩ アンケート結果に基づいた展示改善を実施しているか	A	対応可能なものは実施
	⑪ 県民に対し展示情報を適宜発信しているか	A	HP、ポスター
学習支援事業	① 事業情報を利用者に広く発信しているか	A	印刷物、HP、SNS
	② 多様な媒体による参加申し込み方法を用意しているか	A	はがき、電話、FAX、電子申請等
	③ 多様な参加者を想定したプログラムを用意しているか	A	一般、子供(未就学児を含む)
	④ 参加者に対しサポート体制を整備しているか	A	ボランティアスタッフの配置

項目	チェック内容	評価(A~C)	備考
学習支援事業	⑤ 事業実施にあたり参加者の安全に配慮しているか	A	ボランティアスタッフの配置、注意喚起
	⑥ 参加者を対象としたアンケートを実施し、満足度等を測定しているか	A	アンケートの実施
	⑦ アンケート結果に基づいてプログラムの開発・改善を行っているか	B	アンケートの集計・分析
	⑧ 来館者用の図書・情報コーナーを設けているか	A	コロナ禍のため、現在週2日開室
	⑨ 学芸員実習やインターンシップの学生を受け入れているか	A	学芸員実習及びインターンシップの受入れ
県民との連携・協働	① ボランティア制度を導入しているか	A	作品解説ボランティア、イベント対応等
	② ボランティアの活動に関する規程が整備され、適切に運用されているか	A	ボランティアの種類ごとに整備・運営
	③ ボランティアの募集・認定の規程が整備され、適切に運用されているか	A	ボランティアの種類ごとに整備・運営
	④ ボランティアの研修システムが確立され、適切に実施されているか	A	ボランティアの種類ごとに整備・実施
	⑤ ボランティアの活動成果が公開されているか	A	HP及び年報等での活動報告・予告
	⑥ 友の会、NPO等が館事業に参加する機会を設けているか	A	コロナ対策を講じて実施
	⑦ 地域社会で実施されるイベント等に館として積極的に関わっているか	B	地域の商店街、自治会イベント等
調査研究活動	① 調査研究テーマを定めているか	A	館の方針を念頭に置き、各個人で設定
	② 調査研究のための予算措置等に努力しているか	B	単発の助成金のみ
	③ 調査研究活動を遂行するために必要な専門研修に参加し、館内に情報提供しているか	A	資料保存等
	④ 収集している資料に関連する専門分野についての調査研究に取り組んでいるか	A	MOMASコレクション、企画展
	⑤ 資料の保存・管理、展示・教育普及、博物館経営等の博物館学分野での調査研究に取り組んでいるか	A	専門研修に参加
	⑥ 地域貢献の視点から、館の所在する周辺地域や地域資料についての調査研究に取り組んでいるか	A	MOMASコレクション、企画展
	⑦ 学芸員個々の専門分野についての調査研究に取り組んでいるか	A	
	⑧ 他館や他機関との間で共同研究等を行っているか	A	巡回展の共同企画
	⑨ 調査研究の経過や成果を、さまざまな媒体・方法(著作物、展示、講演、研究発表等)で公開しているか	A	展示、図録など
	⑩ 調査研究の成果を、社会貢献の視点から国、市町村、地域社会等にさまざまな形で還元しているか	A	レファレンス等情報提供
施設・アメニティー	① 施設の維持・改善についての計画を策定しているか	A	毎年度策定
	② 展示室、収蔵庫などで耐震対策を行っているか	A	テグス止め等
	③ 危機管理マニュアルを整備しているか	A	毎年度更新
	④ 防災・救急訓練等を定期的に行っているか	A	公園設備9月実施、建物11月実施
	⑤ 休憩コーナー、授乳コーナー、喫茶コーナー等を設置または状況により対応しているか	A	設置済
	⑥ レンタル用の車椅子、ベビーカーは整備されているか	A	車椅子3台 ベビーカー5台

項目	チェック内容	評価(A~C)	備考
施設・アメニティー	⑦ バリアフリー化など、改善必要箇所の把握のため自己点検を行っているか	A	施設設備点検の実施
	⑧ 一般駐車場と障害者用駐車場を区別しているか	A	障害者用3台
	⑨ 手すり、点字ブロック、音声ガイダンスなどユニバーサルデザイン化への取り組みがなされているか	A	点字ブロック、エレベーター、自動ドア等
	⑩ 利用情報や館内サインはわかりやすく表示されているか	A	エントランス付近に設置
	⑪ 館内サインの英文表記など国際化への対応はとられているか	B	サインの一部英文表記
	⑫ 利用実態に応じて開館時間を設定しているか	A	10:00~17:30
	⑬ 便益施設として利用者数に見合った施設・設備を確保しているか、または状況に応じて対応しているか	A	バス駐車場として公園路を開放するなど
施設の利活	① 施設利用のための要項、マニュアルを策定しているか	A	各種利用要領、利用案内等
	② 施設利用のための情報を公開しているか	A	HPで利用案内を公開
	③ 施設を一般の利用に提供しているか	A	一般展示室、講堂
	④ 施設を学校団体等の利用に提供しているか	A	一般展示室、講堂
	⑤ 施設が地域の賑わい創造や活性化に活用されているか	B	コロナ感染防止の影響で中止する団体がある。
	⑥ 地域や他施設・機関・学校等との連携を図っているか	B	コロナ感染防止の影響で中止する団体がある。

3. 館別独自項目チェックリスト

近代美術館

				評価基準	
				完了または順調に進捗している問題がない状態	A
				着手状態乃至課題が残されている状態	B
				未着手状態	C
項目	チェック内容		評価(A~C)	備考	
展示事業の実施	①	展示観覧者アンケートを実施し、満足度を測定しているか	A		
	②	展示観覧者の目標数を設定し、その達成に努力しているか	A		
	③	企画展の理解を深めるため学芸員による展示解説、講演会等を適宜実施しているか	C	コロナ禍で実施できず、再開を検討中	
	④	展示内容に即した弾力的な広報活動を実践しているか	A	広報紙の内容・印刷物配布先の見直し	
	⑤	外部資金の導入に努力しているか	A	芸術文化振興基金、美術館連絡協議会研究助成ほか	
教育普及及び連携・支援活動の実施	①	収蔵作品の理解を図るため学芸員による解説等を適宜実施しているか	B	コロナ禍で例年通りの実施は不可。スライドトーク等を行った。	
	②	美術に対する理解を深めるテーマを設定した事業を適宜実施しているか	A	ワークショップ、講座等実施	
	③	授業や部活などの受け入れ体制を整備しているか	A	授業、部活動、インターンシップの受け入れ	
	④	教員の資質向上を目的とした研修を実施しているか	A	学校、教育事務所を対象に実施	
	⑤	館職員を学校へ派遣し授業協力を実施しているか	A	複製画等による鑑賞授業の実施	
	⑥	教育普及用資料の貸し出しを実施しているか	A	複製画、鑑賞キット、アートカード等の貸出	
	⑦	大学教員と協働しながら学生を適切に指導しているか	A	埼玉大学との授業連携等(単位認定)	
地域・他機関との交流・協力事業の実施	①	地域・他機関との交流・協力事業を実施しているか	A	地元商店街、自治会との事業協力、うらわ美術館との連携	
	②	企画展等を通じ国外美術館等と相互交流を図っているか	A	企画展・ボイス+パレルモ展	

令和3年度 博物館施設 総合評価

施設名 近代美術館

		達成	未達	達成見込
全館共通	数値目標による評価	1	3	0
各館独自	数値目標による評価	6	3	0

		完了A	課題有B	未着手C
全館共通	チェックリストによる評価	80	9	1
各館独自	チェックリストによる評価	12	1	1

自己評価総括

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言等が長引き、コロナ禍が継続した上半期であったが、企画展「ボイス+パレルモ」 美男におわす 「大・タイガー立石展」は観覧者数が落ち込むことなく、有料率や図録購入率も高く、一定の実績を上げることができた。内容に関心のある層が、着実に来館しているように思われる。 ・「大・タイガー立石展」は近隣のうらわ美術館と協働し、大規模な回顧展を同時開催で実施した。広報や割引制度などで密な連携をはかり、実績に繋がった。 ・企画展の好調に相乗したこと他に、常設展のみの観覧券を購入する来館者も多く、常設展の観覧者も一定の実績を上げることができた。 ・常設展では「特集: 中野四郎」など、調査研究を踏まえたコーナー展示を行い、一定の成果を上げることができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・展示事業は順調に再開できているが、これまで新型コロナウイルス感染防止対策のため開催を控えていた対面でのイベント(ギャラリートーク、講演会、シンポジウムなど)やボランティア活動などが、再開できていない点が課題である。
対応の方向	<ul style="list-style-type: none"> ・対面でのイベントやボランティア活動を再開するタイミングを見極め、段階的に本格実施に向けて進めていく。 例えば、美術館サポーター(ガイドボランティア)については、5月から、1回の時間を30分間から15分間に、定員を5人に、ガイドの対象を屋外彫刻、建築をメインにするなど、必要な制限をしながら月当たり1~2回のペースで再開し、段階的に本来の常設展の解説ガイド実施へ近づけていく。

評価結果に対するコメント

1. 全体に係る評価

各館協議会・委員会の意見